東京都市大学 校友会

杨布



未来に変わらないもの

東京都市大学 校友会 会長 **吉田 勝** (S43建築)



私は、校友会が3年目を迎え、さらなる変革をしなくてはならない、この大切な時期、昨年の総会で校友会会長を拝命いたしました。

「さらなる変革」、言葉では言っていますが「校友会の変革とは何か」校友会が、指示、命令に従いマニュアルどおり働くのではなく、自ら考え、自ら決め、自ら行動できる会になることだと思います。

今は、社会の在り方を根底から変えるような、大いなる変化の時代。 大学は、これまでの教育、研究を更に発展させ、これからの社会で活躍できる人材育成のために、変わらなくてはいけない時代です。

校友会の発足1年目(2013年) に、大学は80年を越える専門的実践 教育の伝統に加えて、創立90周年、 100周年に目指す大学像として、中 長期計画となるアクションプラン 2030を打出し、教育研究改革に取 り組みだしました。

発足当時校友会は、大学は変わって行くのに(東京都市大学は、どういう大学になって行くのだろう)、校友会はどこに向かっていけばいいのだろうか(すべてが変わらなければならない)という漠然とした不安感が各旧同窓会の元常務理事、理事、当時の校友会の常任幹事、幹事を覆っていました。この時期、校友会は大学の変化(ビジョン)にまっ

たく対応できませんでした。この様な中、校友会は学長の方針や、大学の歴史に興味を持ち、会議のあり方を充実させ、事業の選択をし、少しずつ事業そのものを作り変えてきました。また、大学、五島育英会、校友会の共通の認識を、各学科同窓会、地方支部、職場支部へ広げる努力をしてきました。

1年目、2年目と試行錯誤を繰り返し、3年目を迎えた新しい校友会執行部は、合議のもと、事業計画(案)、収支予算(案)、五島育英会評議員を選出し、スタートしました。また3年目は、校友会事務室や、執行部の互いに信頼関係が生まれ、常任幹事会、他の委員会(総務、企画、財務等)の会議を、4月から12月までに50回以上開催しています。さらに校友会は、いまだかつて無いテーマ「校友会のあり方検討会」で、校友会のあり方検討会」で、校友会の本来の姿、活動の目的とは何か、方向性について議論、検討を進めています。

私は30年間、武蔵工業会や校友会に携わっていますが、ある時期まで、大学と同窓会を結び付け、豊かな同窓会活動に一番協力してくださった学内支部の先生方が、今年再立ち上げに向けて動き出しました。もう一度、学内支部と協力して、校友会の準会員である在校生と交流し、在校生への新しい支援を立ち上

げます。

最後に、世代や時代が変わって も、大学で個人が過ごしてきた時間 と思い出(授業、クラブ活動等) や、校歌、校風(校舎やキャンパ ス)、周りの環境、共通の「変わら ないもの」があることで、卒業生 は、伝統「愛校心」を感じるものだ と思います。

これまで武蔵工業会は、たとえ卒 業学科が違っても、新しい学科や学 部ができても、武蔵の名のもとに協 力し合い、新会員を迎え、伝統を築 いてきました。

これからは、東京都市大学の同窓 会、校友会が、大学の発展と卒業 生、在校生の思いに応える活動して いきます。

みなさん、ぜひ一緒に 校友会を盛り上げて いきましょう!

ステップの年を迎えて

東京都市大学 学長東京都市大学 校友会 顧問 三木 千壽



学長として2年目に入りました。この 1年間、「国際標準の大学への進化」 を目標として、教育と研究の両面から 様々な改革に着手しました。教職員の 皆様にとっては、今までの都市大には あまり馴染の無かったことも多く、戸 惑いや驚きもあったことと思います。 学長の任期は3年ですので、3段跳び に例えるなら、今年はステップになり ます。すでに着手したプログラムを確 固たるものとして定着することが今年 の課題と考えています。そして、それに 続く大きなジャンプにつなげたいと考 えています。

大学の役割は人材育成です。いつ も頭にあるのは、菅子の言葉「計壱 年莫如樹穀 計十年莫如樹木 計 終身莫樹人」であり、大学の計画 は「終身の計」でなければなりません。そこで都市大としてどのような 人材を育成するかですが、単に知うな を詰め込んだ、クイズに強いまうな が一つではない、と考えています。所 る困難な状況に対応できるタンな人 材を、都市大から輩出したいと考えています。 「今日の即戦力は明日の 戦力外」です。

改革の一つの柱は国際化です。国際人育成の導入プログラムであるTAPの学生がいよいよオーストラリアに出かけます。予備教育6か月で半数近くの学生がTOEICの成績を100点以

上アップさせての出発です。5か月後、 どのように成長して帰国するかが楽し みです。帰国した学生ががっかりしな いように、都市大での教育も改善しな ければなりません。

昨年はさくらサイエンスプログラムなどを通して、アジアの大学から多くの学生を受け入れました。短期間でも研究室に留学生が滞在することの効果は高く、都市大生が驚くほど積極的にアジアの学生と混じり合いました。多様な学生を受け入れることの効果を今更ながら認識しました。さらに、さくらサイセンスの裏返しとして、都市大の学生を、パートナー大学に派遣しての国際PBL (Project-Based Learning) を開始しました。今後、いくつかの大学とはダブルディグリーなどを含む教育面での協働につなげて行きます。

研究は教育とともに大学活動の両輪です。大学での研究の多くは教員と学生とが力を合わせて推進するところに意義があります。課題を見つけること、それを解決するための研究計画を立てること、実験や解析を行うこと、その結果を解釈すること、論文にまとめること、さらには次のステップの研究につなげること、これこそが高度人材育成のあり方と考えています。

ぜひ校友会にお願いしたいことが あります。それは意欲的な学生を都 市大に集めることです。都市大の良

さ、将来性をご理解いただいている 校友会の皆様に、ご支援とお願いを いたします。実は昨年の入試の状況 を見ていて危機感を覚え、全新入生 に対してアンケートを行いました。 どのような大学を受験したか、何処 が第1希望であったか、などを聞き ましたが、都市大のポジションが見 えてきました。9月に実施しました 全教職員との討議では、私が大学を 受験した昭和41年の入試難易度ラン キングを見ていただきました。その 時の武蔵工大のポジションは早慶の 次です。アクションプラン2030で 目標としている世界ランキング300 位以内は、当時は実現できていたの ではないでしょうか。

受験での難易度と大学の実力は違うとのご意見もあるでしょうが、両方を意識しながら大学運営を考えるべきと考えています。付属高校からの進学者は激減しています。指定校からの推薦入試も見直す必要があります。高大連結プログラムが展開できる連携校のような形も考えられます。もちろん、意欲的な学生が自然に集まることが理想です。そのための本質的な解決は「世界標準の大学への進化」を早く実現することです。

校友会のメンバーから今の都市大には魅力を感じない、期待できない、と言われないように、大学として最大限の努力を続けていきます。

平成27年度定期総会報告

平成27年6月20日(土)に渋谷エクセルホテル東急において会員116名が出席、引き続き三木学長の講演会、懇親会を開催 した。総会では以下の通り、承認・報告された。

- ・校友会役員の承認 ・平成26年度事業報告
- ・平成26年度収支決算報告および監査報告
- ・平成27年度事業計画 ・平成27年度収支予算
- ・功労者表彰および叙勲者お祝い

校友会役員 (任期:平成27年度から3年間)

1000			J 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
役 職	氏 名	卒業年・学科	選出母体
会 長	吉田勝	S43 建築	
副会長	原口 兼正	S49 通信	
	松村慶一	S49 機械	
	川辺加代子	S50 国文	
	吉村 正伸	H13 環境情報	
幹事	金子 豊	S54 機械	
	松本 浩一	S59 機械	
	白木 尚人	H03 機械	機親会
	木村 太郎	H06 機械	(成 大
	熊谷 正芳	H14 機械システム	
	早瀬 悠二	H18 機械システム	
	後藤田栄司	S44 電気	
	石田 弥*	S45 電気	
	小林 洋一	S48 電気	雨七人
	尾崎 正明	\$54 電気	電友会
	和多田雅哉	\$59 電気	
	鈴木 憲吏	H17 電気	
	草柳 俊二	S42 土木	
	小林 哲男	S47 土木	
	皆川 勝*	S54 土木	緑土会
	丸山 收	558 土木	
	谷口 敦	S63 土木	
	山岡 嘉彌	S46 建築	
	尺田 知己	S48 建築	如学会
	酒井 孝博	S51 建築	州子云
	藤井 研一	S57 建築	
	大島 弘之	S40 通信	
	鈴木 威一	S41 通信	添七 △
	今井 章久	S44 通信	通友会
	秋谷 昌宏	S46 通信	
	岸野 哲	S42 経営	
	海老沼利光 *	S49 経営	
	矢﨑 克実	S54 経営	経友会
	金子 正樹	S55 経営	
	薩川 宣昭	H10 経営	

役 職	氏 名	卒	業年・学科	選出母体
幹事	髙橋 明生	H16	電子情報	情智会
	小宮山和弘	H23	生体医	医工会
	本多 庸郎	S51	電気	原子力友の会
	佐藤 圭輔	H14	エネ基礎	源友会
	加藤 広樹	H25	自然科学	さきがけ
	髙橋 弘嗣*	H20	環境情報	楷の木会
	渡部 悠	H25	都市生活	等々力会
	小林 菊恵	S33	家政	
	早田 典子	S47	家政	
	田崎博美	S49	国文	
	服部 圭子	S50	家政	新美砂会
	加藤 祐子*	S53	国文	
	宇野美智子	S54	英文	
	衣斐喜美子*	S55	家政	
	大谷 眞一*	S51	機械	
	大上 浩	S56	機械	
	橋本 昌彦 *	-	_	大学教職員
	植村 俊子	S52	家政	
	小山 純生	_	_	
	村上 啓二	S48	土木	北海道・東北地区
	岩間 義人	S40	土木	関東・甲信越地区
	千野慎一郎	S41	建築	中部地区
	田中浩作	S39	土木	関西地区
	山田 正一	S44	土木	中国・四国地区
	東求	S46	土木	九州・沖縄地区
	内海 貴志	S55	土木	
	山中 広司	S60	経営	間場支部
	望月 宏	S41	生産機械	11X-2017
	百目鬼英雄	S52	電気	
監査役	山田 秋夫	S35	土木	
	小久保善生	_	_	大学教職員
				*は常任幹事

(現役員はホームページに掲載)















平成26年度事業報告

- 1. 会報の発行及び会報名称の決定
 - ・校友会会報(創刊号)を平成26年5月20日に発行した。
 - ・校友会会報「都市」(第2号)を学位授与式開催日(平成27年3月 19日)に合せて発行し、卒業者・修了者に先行配布した。
 - ・会報の名称を募集し、会報編集部会及び常任幹事会で検討の結 果、「都市」に決定した。 (第2号から使用)
- 2. 幹事会、常任幹事会の開催
 - ・幹事会…平成26年5月24日(土)に開催し、平成25年度事業報 告、平成26年度事業計画案、平成25年度収支決算報告及び監査 報告、平成26年度収支予算案、会則・細則の変更等を審議・承

次期会長候補者の選出については、審議未了、常任幹事会預か りとした。

- ・臨時幹事会(第1回)…平成26年6月21日(土)に開催、次期会 長候補者推薦委員会答申を非承認とした。
- ·幹事会書面審議…〈平成26年10月〉 次期会長候補者推薦委員会 の設置を承認した。

- 〈平成26年11月〉同上委員を承認した。 ・臨時幹事会(第2回)…平成27年3月7日(土)に開催し、次期会 長候補者推薦委員会から、吉田勝氏を次期会長候補者とする答 申を承認した。
- ・常任幹事会…平成26年4月から平成27年3月まで9回開催し、必 要事項の審議・承認を行った。
- 3. 総会、懇親会の開催
 - ・定期総会及び懇親会を平成26年6月21日(土)世田谷キャンパス において開催した。

平成25年度事業報告、平成26年度事業計画案、平成25年度収支 決算報告及び監査報告、平成26年度収支予算案、会則・細則の 変更等を審議・承認した。

- 4. 会員名簿の作成
 - ・旧武蔵工業会と旧美砂会の会員名簿を整理・統合した。
- 5. 会員相互の親睦、交流
 - 賀詞交歓会

平成27年1月19日(月)世田谷キャンパス ラウンジオークで、 81名の参加により開催した。

・親睦会〈親睦ゴルフ大会〉

平成26年10月30日(木)源氏山ゴルフコースにおいて、学校法 人五島育英会及び東京都市大学からの招待者各1名を含む37名の 参加により開催した。

〈日帰りバス旅行〉

平成27年2月21日(土)はとバス・東京スカイツリーと浅草老舗 の味コースで実施し、36名が参加した。校友会として今回初め ての企画なので、募集範囲を幹事及び各委員会委員としたが、 次回以降の募集範囲・募集方法は改めて検討する。

- 6. 各学科同窓会への支援
 - ・各学科同窓会へ以下の助成を行った。
 - ①一律支援→全ての学科同窓会(14学科同窓会)
 - ②特別助成·地方統合推進費用 → 新美砂会
 - ③積極的な活動(「就職支援」、「会報作成」等)に取り組んでい る学科同窓会へ重点助成→機親会、如学会、通友会、さきがけ
- 7. 地方支部、職場支部への支援・依頼
 - ・地方支部総会・職場支部総会(合せて32支部)へ役員を派遣し、 本部との交流を図った。
 - ・大学として出席された先生方へ支部総会(3支部)の参加に必要 な情報の提供を行った。
 - ・地方支部への活動内容に合わせた助成を行った。
 - ①支部運営費総会を実施した支部へ助成 →23支部、他支部交流助 成→東海支部
 - ②事業活動費支部関連懇親会助成→秋田支部、山形支部、新潟支 部、東海支部
 - ・現役学生の就職活動支援、母校受験者への大学紹介について支 部総会出席の際、支援依頼を行った。具体的には今後大学と協
 - ・大学と後援会主催の「大学と保護者との連絡会」(地方開催) へ各支部に出席を依頼、Uターン就職等の支援・協力を行った。 …支部からの出席17会場 (29名)
 - ・平成26年5月24日(土)に地区代表者会議を開催し、各支部の活 性化及び旧武蔵工業会と旧美砂会との支部統合の進め方等を協 議した。
- 8. 在学生へ奨学金・奨励金及び助成金
 - 奨学金・奨励金

大学が企画した ①毎日学べる英会話②インターナショナルラウ ンジ③TOEIC検定料④朝活100円朝食⑤ボランティア支援に助成 (総額780万円) した。

· 緊急学費貸与

平成26年度限定で、「学部4年次又は大学院最終学年で卒業が確 実且つ就職先が内定しているが、経済的困窮のため後期授業料 未納の学生」を対象とし、1名に後期分授業料を貸与した。

- 9. ホームカミングデーを大学と共催で実施した。
 - ・平成26年度は、キャンパス毎のホームカミングデーとし、校友 会及び大学教職員による実行委員会で協議のうえ開催した。参 加状況は以下のとおりであった。

平成26年6月9日(土)横浜キャンパス(出席者:卒業生45名、 教職員等20名)

平成26年11月1日(土)等々力キャンパス(出席者:卒業生72 名、教職員等45名)

平成26年11月2日(日)世田谷キャンパス(出席者:卒業生190 名、教職員等78名)

- 10. キャンパス毎の学園祭に参加
 - ・等々力祭、世田谷祭において会員向け「休憩所」を設置した。
- 11. ホームページの拡充と更新
 - ・校友会からのお知らせの更新、支部ニュースの拡張を行った。
- 12. その他
 - 学位授与式関係

〈校友会賞授与〉学業優秀で、将来社会での活躍が期待される者 を対象に各学科又は専攻毎に各1名計16名に授与した。

〈学位記ホルダー贈呈〉平成26年度卒業者全員に学位記ホルダー を贈呈した。

〈新規卒業生歓迎行事実施〉大学と共催で学位授与式後ガーデン パーティを行った。

• 功労者表彰

平成27年度実施に向け、功労者表彰の規定化について検討し、 「表彰規程」及び「表彰基準」を制定した。

平成27年度事業計画

- 1. 会報の発行
 - 東京都市大学校友会報「都市」(第3号)の発行
- 2. 幹事会、常任幹事会の開催
 - ・常任幹事会を開催し、必要事項の審議及び承認
 - ・幹事会を開催し、必要事項を決議
- 3. 総会、懇親会の開催
 - ・平成26年度の事業経過報告と収支決算の承認
 - ・平成27年度の事業計画(案)と収支予算(案)の承認
 - 新役員等の承認
- 4. コミュニケーション基盤の構築
 - ・会員のメールアドレス収集、保管システムの検討
 - ・大学、校友会、学科、支部等、相互のホームページ連携の検討
- 5. 会員相互の親睦、交流
 - 賀詞交歓会
 - 親睦行事

懇親ゴルフ大会、各種観劇・観賞会又はバスツアーの開催

- セミナーの開催
- 6. 各学部学科同窓会への支援
 - ・各学部学科同窓会への活動内容に合わせた助成金の給付
- 7. 地方支部、職場支部への支援・依頼
 - ・支部総会へ会長または役員を必要に応じて派遣、教員への参加
 - ・地方支部への活動内容に合わせた助成金の給付
 - 現役学生の就職活動支援、母校受験者への大学紹介支援
 - ・全国支部長会議、地区代表者会議の開催
 - ・「大学と保護者との連絡会」に地方支部へ出席依頼
- 8. 在校生への支援
 - ・総額1,000万円規模の在学生への支援
- 9. ホームカミングデーの共催
 - ・各キャンパスホームカミングデーに参加・支援
- 10. キャンパス毎の学園祭に参加
 - ・学園祭に出品、出店する同窓会の団体に助成金を給付
 - ・校友会の同窓会員向けの「ラウンジ」を設置
- 11. 学位授与式関係
 - ・校友会賞の授与(全学科又は、専攻各1名)、学位記ホルダー贈 呈(全員)、式後のガーデンパーティを大学と共催
- 12. 武蔵工業会館のあり方の検討
 - ・校友会としての位置付けの確認
 - ・将来に向けた持続性確保の検討
- 13. その他
 - ・校友会運営に尽力した会員を対象とした功労者表彰

平成26年度 収支決算

一般会計	设会計 (単位:円)			
科 目	平成26年度		対予算	
1. 会 費	82,872,000	53,786,000	-29,086,000	
・H24年度卒業者	0	0	0	
・H25年度卒業者	14,926,000	15,046,000	120,000	
・H26年度入学者	16,810,000	16,810,000	0	
・H26年度卒業者	51,136,000	21,930,000	-29,206,000	
2. 諸会会費	1,810,000	1,079,044	-730,956	
・総会(懇親会)	1,000,000	750,000	-250,000	
・賀 詞 交 歓 会 ・そ の 他	210,000	153,000	-57,000	
・そ の 他 3.会誌広告	600,000	176,044	-423,956	
3. 芸 誌 仏 告 4. その他収入	392,772	653,899	261,127	
•賀詞交飲会祝金等	50,000	100,000	50,000	
·雜 収 入	342,772	553,899	211,127	
5 · 運 用 収 入	0 0	158,119	158,119	
収入計	85,074,772	55,677,062	-29,397,710	
- 3				
6. 主 事 業 費 ・総 会 (題 親 会) 曹	30,031,050	28,056,074	-1,974,976 -307,362	
・総 会 (懇 親 会) 貴 ・会 議 貴	1,700,000 1,200,000	1,392,638 2,578,947	1,378,947	
・会報発行費	7,131,050	6,070,668	-1,060,382	
(印刷代)	7,131,030	1,582,524	-1,000,302	
(発送費)		4,488,144		
• 学 科 同 窓 会 支 援 費	4,000,000	4,571,938	571,938	
• 支 部 関 連 費	4,000,000	3,288,666	-711,334	
•支部総会出張費	2,000,000	1,658,020	-341,980	
•研究助成費	0	0	0	
・在 学 生 奨 学 金 費 *	10,000,000	8,495,197	-1,504,803	
・部活動表彰(奨励金費) *	0	0	0	
7. 卒業関連事業費 *	2,250,000	1,910,760	-339,240	
・学 位 記 ホ ル ダ ー	1,350,000	1,330,560	-19,440	
• 校 友 会 賞	400,000	240,000	-160,000	
・ガーデンパーティ費	500,000	340,200	-159,800	
8. その他事業費	3,080,000	2,435,515	-644,485	
学生支援費*ホームカミングデー費	30,000	25,000	-5,000	
ホームカミンクアー費ホームページ拡充・更新費	1,000,000	1,598,066	598,066	
・ ボームペーン纵元・更新資・ 智 詞 交 歓 会 告	200,000 1,000,000	2,237 685,139	-197,763 -314,861	
・学園祭協費費*	1,000,000	000,100	-314,601	
・表彰者記念品	150,000		-150,000	
・大学と保護者との連絡会費 *	150,000		-100,000	
• 親 睦 会 行 事 費	700,000	125,073	-574,927	
9. 管 理 費	23,400,000	18,877,827	-4,522,173	
•人 件 費	15,800,000	14,693,054	-1,106,946	
・通 信 交 通 費	2,300,000	399,921	-1,900,079	
(通信費)	2,200,000	383,863	-1,816,137	
(交通費)	100,000	16,058	-83,942	
• 涉 外 費	500,000	283,202	-216,798	
・備 品 貴	2,000,000	1,620,861	-379,139	
・事務用品費	1,500,000	1,256,423	-243,577	
• 印 刷 贵	1,000,000	335,430	-664,570	
•賃借料	300,000	288,936	-11,064	
10 周 年 積 立 金 11. 雑 費	5,000,000	5,000,000	71 145	
11 . 雑 費 12 . 会費等返却金	500,000	428,855 40,000	-71,145 40,000	
12. 云質寺巡却金	5,000,000	1,094,000	-3,906,000	
支 出 計	69,261,050	57,843,031	-3,906,000	
[内訳] 学生関連支出計(*印)	12,280,000	10,430,957	-1,849,043	
OB対象関連支出費計	56,981,050	47,412,074	-9,568,976	
14.収 支 差 額	15,813,722	-2,165,969	-17,979,691	
117	10,010,122	-2,100,303	-11,513,031	

特別会計		,	(単位:円)
科目	平成26年度		対予算
AT E	予 算	決 算	N) I'A
15. 保有資産			
基金(国債)	150,321,600	150,773,691	452,091
·現 金	162,484,523	162,484,523	0
· 会館株式(株券)	15,060,000	15,070,000	10,000
資 産 合 計	327,866,123	328,328,214	462,091
16. 特別会計現金収入			
・債券運用益	0	398,428	398,428
・周 年 積 立 金	0	5,000,000	5,000,000
・ 一般会計から振替	15,813,722	-2,165,969	-17,979,691
収入合計①	15,813,722	3,232,459	-12,581,263
17. 特別会計現金支出			
 債券(処分額) 	0	627,091	627,091
• 会館株式買取費	0	0	0
現金支出合計 ②	0	627,091	627,091
18 . 現金収支合計 (①-②)	15,813,722	2,605,368	-13,208,354
19. 繰越資産合計	343,679,845	330,933,582	-12,746,263
20 (内数) 現金合計	178,298,245	165,089,891	-13,208,354

東京都市大学 校友会資産の推移 (単位:円) 対予算 予 算 決 算 150.321.600 150.773.691

22	現 金	178,298,245	165,089,891	-13,208,354	
23	会館株式 (株券)	15,060,000	15,070,000	10,000	
	合 計	343,679,845	330,933,582	-12,746,263	
緊急学費貸与 (単位:円)					

平成27年度 収支予算 平成26年度 目 対前年増減 科 決 算 予 算(案) 53,786,000 83,420,000 H25年度卒業者 15 046 000 120,000 -14,926,000 · H26年度入学者 16,810,000 9,660,000 -12,270,000 21,930,000 · H26年度卒業者 16,740,000 H27年度入学者 · H27年度2年生 16,600,000 16,600,000 · H27年度3年生 60.000 60.000 40,240,000 40,240,000 · H27年度卒業予定者 730,956 2. 諸 会 会 費 1,810,000 ・総会(懇親 750,000 1,000,000 250,000 •賀詞交歡会 153.000 57.000 210.000 423,956 600,00 176,044 その他 収 入 2,100,000 1,446,101 • 賀 詞 交 歓 会 祝 金 等 100,000 100.00 2,000,000 1.446.101 収 553 899 4 · 運 用 収 158,119 -158,119 55,677,062 31,652,938 5. 主 事業費 28,056,074 41,500,000 13,443,926 3,100,000 • 総会(懇親会) 1.392.638 ·会 議 費
·会 報 発 行 費
(印 刷 代)
(発 送 費) 2,578,947 3.000.000 421.05 7,300,000 6,070,668 1,582,524 2,700,000 4,488,144 4,600,000 ・学科同窓会支援費
・キャンパス支援費
・支部 関連 費
・支部 支援 費 -571,938 4,571,938 4,000,000 2,000,000 3,800,000 2,000,000 511,334 4,300,000 4,300,000 • 支 部 総 会 出 張 費 1.658.020 2.500.000 841.980 ・在 学 生 支 援 費 11,500,000 8,495,197 3.004.803 1,910,760 2,290,000 ・ 学 位 記 ホ ル ダ ー 1,330,560 1,350,000 校 友 会 賞ガーデンパーティ費 240,000 340,200 240,000 700,000 359,800 7. その他事業費 2,435,515 8,580,000 6,144,485 ・留 学 生 支 援 費 25,000 30,000 3,500,000 1,598,066 1,901,934 ホームカミングデー費ホームページ拡充・更新費 200,00 197,76 2,237 3,000,000 3,000,000 質 詞 交 歓 会 費
 表 彰 者 記 念 品
 親 睦 会 行 事 費 1,000,000 314,861 150,000 700,000 150.00 125,073 574,927 8. 管理費 18,877,827 15,018,936 -3,858,891 - 人 件 費
- 通 信 支 通 費
- (通 信 費)
- (文 通 費)
- 沙 外 費
- 備 品 費 14,693,054 11,430,000 -3,263,054 399.921 600.000 200.07 383,863 500,00 116,13

特別会計 (単位:円) 平成26年度 決 算 平成27年度 予 算 (案) 科 対前年増減 14. 保有資産 150,773,691 債券(国債) 162,484,523 165,089,891 2,605,368

16,058

283,202

1.620.861

1,256,423

335,430

288,936

5 000 000

428.85

1,094,000

57,843,031

-2 165 969

40,000

• 備

10. 雑

品

・事務用品費

9. 周 年 積 立 金

11. 会 費 等 返 却 金

13. 収 支 差 額

::::

100,00

500,000

200 000

1.500.000

500,000

288,936

5 000 000

2.150.000

3,000,000

77,538,936

216,798

-1,420,861

164,57

1,721,145

1,906,000

19,695,90

9.791.064 11.957.033

-40,000

243.57

15,070,000 15,070,000 2.605.368 328,328,214 特別会計現金収入 ・ 债 券 運 用 益 ・ 周 年 積 立 金 -398,428 5,000,000 5,000,000 ・一般会計から振替 11,957,033 -2,165,969 9,791,064 収入合計① 3,232,459 14,791,064 11.558.605 特別会計現金支出 債券 (処分額) • 会館株式買取費 627.091 支 出 合 計 ② -627.091 現金収支合計 ① -14,791,064 2,605,368 17. 繰越資産合計 330,933,582 345,724,646 14,791,064 (内数) 現金合計 165,089,891 179,880,955 14,791,064

東京都市大学 校友会総資産の推移 (単位:円) 平成26年度 対前年増減 予 算(案) 決 算 債券(国債) 現金 150,773,691 14,791,064 20 165 089 891 179,880,95 会館株式 (株券) 21 15,070,000 15,070,000

奨学金 (貸与) 平成26年度 貸与 平成27年度返済(案) 次年度繰越残金 奨学金(貸与) 1名

功労者表彰 8名

青森支部 須藤 惇(S33诵信) 福島支部 横山 英夫(S32土木) 千葉支部 中村 春雄(S33建築) 横浜支部 山田 秋夫(S35土木) 静岡支部 相川 博(S45機械) 京滋支部 大坪 賢一(S40土木) 大阪奈良支部 長村 謙(S49土木) 熊本支部 竹下 堅(S32電気)

(敬称略 順不同)

叙勲受章者 3名

瑞宝双光章 荒 宗俊(S24土木) 瑞宝双光章 赤津 武雄(S40電気) 瑞宝中綬章 加藤 亨(S40通信) 瑞宝小綬章 熊井 敬明(S41生機)*

> (敬称略 順不同) *総会後お祝いをお渡しいたしました。

第3回親睦ゴルフ大会

平成27年11月17日(火)に今回は会場をレイクウッドゴルフクラブに移しての開催となりました。当日は、五島育英会橋本専務理事をご招待し、正会員、大学職員合わせて35名により実施しました。プレイ中は天候に恵まれ、富士山をバックに参加者各自日頃の実力を遺憾なく発揮し、相互の懇親をより一層深めることができました。

平成28年度につきましても開催を予定しており、ホームページでお知らせ致します。 皆様の参加をお待ち致します。

平成27年度ホームカミングデー

◎平成27年6月 横浜キャンパス(楷の木会主催)卒業生64名 在学生 5名 教職員17名 来賓(元教員等) 8名 校友会関係(校友会本部、横浜支部)12名 合計106名が参加



◎平成27年11月1日(日)世田谷キャンパス(東京都市大学と共催)

卒業後50年64名 卒業後45年24名 卒業後40年13名 卒業後35年24名 卒業後30年10名 卒業後25年 6名 卒業後20年 2名 卒業後15年 4名 卒業後10年 5名 該当学年以外68名 合計220名 五島育英会・東京都市大学関係者等86名 総合計306名が参加。

◎平成27年11月1日(日)等々カキャンパス(東京都市大学と共催)

 卒業後50年 5名 卒業後45年 1名 卒業後40年13名

 卒業後35年 6名 卒業後30年 8名 卒業後25年 4名

 卒業後20年 3名 卒業後15年 2名 卒業後 2年 5名

 卒業後 1年20名 該当学年以外21名 合計88名

 現職 6名 退職教職員 8名 他24名 総合計126名が参加。



屋形船による遊覧と親睦会

平成27年10月17日(土)に「屋形船による遊覧と親睦会」を行い、24名の参加者により、台場海浜公園・ディズニーランド付近を遊覧しました。前日から当日朝まで雨模様でしたが、幸い乗船までに天候が回復し、風も穏やかで今回の遊覧コースの目玉であるディズニーランドの花火を鑑賞することができました。船内では、カラオケを楽しみながら、和気藹々と大いに話しがはずみ、親睦を図ることができました。

平成28年については内容を検討中ですが、10月中旬頃に実施を予定しております。決定次第ホームページ等でお知らせ致しますので、ふるってのご参加をお待ち致します。

校友会セミナー

平成28年2月20日(土)に校友会セミナーを開催しました。平成27年度から東京都市大学の新たな施設となった



「二子玉川夢キャンパス」を会場とし、「共同通信記者37年 メディアからキャンパスへ 学縁を広げよう」というテーマで角田光男氏・

(元共同通信記者、東京都市大学学長特命広報ディレクター)に講師をお願いしました。当日は、63名の参加により、角田氏から、東日本大震災を取材して感じた学縁の絆等を中心に有意義なお話をいただきました。

支部総会開催一覧

支部名 平成27年3月~平成28年2月開催分) 平成28年度 開催予定 大成配合 中成27年3月26日(木) YS 61 大成配合 平成27年3月26日(木) YS 61 農糧 7 月日(金) 弘証子アルサ		平成27	平成28年度		
大成柏会 平成27年3月26日(木) Ys 61 鹿島柏会 4月7日(火) 鹿鳥 本社ビル3階社員食堂 40 青森 5月1日(金) 弘前アラサホテル 7 島根 5月23日(土) 松江テルサ 6 5月21日(土) 京滋 5月30日(土) 療施ホテル 19 5月28日(土) 愛媛 5月30日(土) 伊予銭会館 16 5月28日(土) 長野 6月6日(土) 深書園 29 6月4日(土)~5日(日) 福島 6月6日(土)~7日(日) 磐梯熱海温泉「栄棄館」 29 6月4日(土)~5日(日) 広島 6月31日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月11日(土) 山形 6月37日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月11日(土) 山形 6月27日(土) ホテルマナンチェアル 15 5月末 月期日(土) ホテルマイズテイズデ部宮 25 7月 9日(土) 7月2日(土) 東テルマナンイデオテル 8 7月2日(土)~3日(土) インテルマイズテイズテイズテイズテイズテイズテイズテイズテイズテイズテイステイステイスを開発しまする。 4月2日(土) イントストンル・デルボテルでルイデストル・デル・デル・デル・デル・デル・デル・デル・デル・デル・デル・デル・デル・デル	支部名			支部出席者数	
鹿島柏会 4月7日(火) 鹿島本社ビル3階 社員食堂 40 青森森 5月1日(金) 弘前プラザホテル 7 高級 5月23日(土) 松江テルサ 6 5月21日(土) 京滋 5月30日(土) 原原ボテル 19 5月28日(土) 愛媛 5月30日(土) 原原ボテル 19 5月28日(土) 優野 6月6日(土) 愛香園 29 6月 福島 6月6日(土) ~7日(日) 磐梯熱海温泉「栄棄館」 29 6月 成局 6月13日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月11日(土) 山口 6月27日(土) 山口グランドホテル 15 5月末 山口 6月27日(土) 山口グランドホテル 15 5月末 山市 6月27日(土) 北テルセンチュリーボテル 15 7月初旬(土) 扇板 6月27日(土) 北テルイズテイズディアキャロボラル 8 7月2日(土) ~3日(土) 大阪 7月4日(土) 25 7月月9日(土) 大田 7月4日(土) 大阪カイディアリー・デルボラル 8 7月2日(土) 第2 7月 大田 7月4日(土) 大阪カイデルアルデル <td>大成柏会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	大成柏会				
島根 5月23日(土) 校江テルサ 6 5月21日(土) 京滋 5月30日(土) 京阪ホテル 19 5月28日(土) 愛媛 5月30日(土) 伊予鉄会館 16 5月28日(土) 長野 6月6日(土) 愛香園 29 6月 福島 6月6日(土) 夕 6月 広島 6月13日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月4日(土) ~5日(土) 山口 6月27日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月4日(土) 山北 6月27日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月4日(土) 山北 6月27日(土) ホテルセンチェリー21広島 20 6月4日(土) 山北 6月27日(土) ホテルセンチステル 15 5月末 小田 6月27日(土) 第年生・サイドホテル 8 7月2日(土) ~3日(土) 第年生・サイドホテル 8 7月2日(土) 3日(土) 3日(土) <td></td> <td></td> <td>鹿島 本社ビル 3階 社員食堂</td> <td>40</td> <td></td>			鹿島 本社ビル 3階 社員食堂	40	
島根 5月23日(土) 松江テルサ 6 5月21日(土) 京滋 5月30日(土) 京豚ホテル 19 5月28日(土) 愛媛 5月30日(土) 伊予鉄会館 16 5月28日(土) 長野 6月6日(土) 零香園 29 6月 福島 6月6日(土) 野春園 29 6月 福島 6月13日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月41日(土) 山口 6月27日(土) 山口グランドホテル 15 5月末 山北 6月27日(土) 山口グランドホテル 15 5月末 山北 6月27日(土) ホテルセンドコボラタン北下テル 8 7月2日(土) 3日(日) 鳥取 6月27日(土) ボテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 4 7月2日(土) 3日(土) 4 7月2日(土) 3日(土) 4 7月2日(土) 4 7月2日(土) *** 7月2日(土) *** 7月2日(土) *** *** 7月2日(土) *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	青森	5月1日(金)	弘前プラザホテル	7	
京滋 5月30日(土) 京阪ホテル 19 5月28日(土) 憂援 5月30日(土) 伊予鉄会館 16 5月28日(土) 長野 6月6日(土) 7日(日) 9 6月4日(土)~5日(日) 福島 6月6日(土) 7日(日) 9 6月4日(土)~5日(日) 山島 6月27日(土) 山口グランドホテル 15 5月末 山形 6月27日(土) ホテルメトロボリタン山形 18 7月3日(土) 鳥取 6月27日(土) ホテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 板木 7月4日(土) ホテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 大規田 7月4日(土) ホテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 大規田 7月4日(土) ホテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 大規田 7月4日(土) ホテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 大課 ア月4日(土) ホテルマイズイズ宇都宮 25 7月9日(土) 東京 7月25日(土) 東京産業技術記念館 22 7月 東海 7月25日(土) 東京産業技術記念館 22 7月 お田 9月12日(土) ホテルアンア・アルアンア・アルマ	島根	5月23日(土)	松江テルサ	6	5月21日(土)
要媛 5月30日(土) 伊予会会館 16 5月28日(土) 長野 6月6日(土) 報書園 29 6月4日(土)~5日(日) 協場 6月6日(土)~7日(日) 路梯熱海温泉 栄棄館」 29 6月4日(土)~5日(日) 広島 6月13日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月1日(土) 山口 6月27日(土) 山口グランドホテル 15 5月末 山形 6月27日(土) ホテルメレンチュリー21広島 20 6月1日(土)~3日(日) ボテルマイズティアル 18 7月初旬 8 7月3日(土)~3日(日) 栃木 7月4日(土) 常生シーサイドホテル 8 7月2日(土)~3日(土) 秋田 7月4日(土) ホテルマイズテイズ学都宮 25 7月9日(土) 秋田 7月4日(土) 秋田キャツスルホテル 19 6月4日(土) 千葉 7月4日(土) 千葉スカイヴィング 東天紅 54 7月2日(土) 徳島 7月18日(土) 阿波観光ホテル 11 7月 東海 7月25日(土) トヨタ産業技術記念館 22 7月 北海道 8月28日(金) ホテルモンドルエーデルホフ札幌 40 9月 静岡 9月5日(土) 銀座アスター浦和賣館 56 9月10日(土) 鹿児島 9月12日(土) 銀座アスター浦和賣館 56 9月10日(土) 熊本 9月12日(土) 銀座アスター浦和賣館 56 9月10日(土) 株然 ゲルズ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横32・川/24・湘/11 10月1日(土) 福岡 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横32・川/24・湘/11 10月 1日(土) 東京都市大学 横31円24・湘/11 10月 1日(土) 東京都市大学 横31円24・オープ・ファンド・レチュウー 32 11月 1日(土) 東海 11月 1日(土) 東京都市大学 66 7月30日(土) 東海銀公 11月 1日(土) 東戸泉名イン 32 11月 1日(土) 東京都市大学 60 7月30日(土) 東京銀本社 1月 1日(日) ホテルル・ブンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 平成28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 中球28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 平成28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 平成28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 中球28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 平成28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 平成28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1月 1日(日) 平成28年 1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 1日(日本・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・	京滋	5月30日(土)	京阪ホテル	19	5月28日(土)
福島 6月6日(土)~7日(日) 磐球熱海温泉「栄染館」 29 6月4日(土)~5日(日) 広島 6月13日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月11日(土) 10口 6月27日(土) 115 5月末 115 5月末 116 117 115 5月末 117 117 117 117 117 117 117 11		5月30日(土)	伊予鉄会館	16	5月28日(土)
福島 6月6日(土)~7日(日) 磐梯熱海温泉「栄薬館」 29 6月4日(土)~5日(日) 広島 6月13日(土) ホテルセンチュリー21広島 20 6月11日(土) 山口 6月27日(土) 山口グランドボテル 15 5月末 15月末 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11			翠香園	29	6月
山口 6月27日(土) 山口グランドホテル 15 5月末 1月7日(土) ホテルメトロポリタン山形 18 7月初旬 7月初旬 18 7月1日(土) 18 7月2日(土) 18 17月2日(土) 18 17月2日(土) 17月4日(土) 17月4日	福島	6月6日(土)~7日(日)	磐梯熱海温泉「栄楽館」	29	6月4日(土)~5日(日)
山形 6月27日(土) ホテルメトロポリタン山形 18	広島	6月13日(土)	ホテルセンチュリー21広島	20	6月11日(土)
鳥取 6月27日(土) 皆生シーサイドホテル 8 7月2日(土)~3日(日) 栃木 7月4日(土) ホテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 秋田 7月4日(土) 秋田キャスルホテル 19 6月4日(土) 千葉 7月4日(土) 千葉スカイウィング東天紅 54 7月2日(土) 徳島 7月18日(土) 阿波観光ホテル 11 7月 東海 7月25日(土) トヨタ産業技術記念館 22 7月 北海道 8月28日(金) ホテルモントレエーデルホフ札幌 40 9月 静岡 9月5日(土) ホテルモントレエーデルホフ札幌 40 9月 静岡 9月5日(土) ホテルアンシア静岡 43 9月 埼玉 9月12日(土) 北テルレクストン鹿児島 12 9月10日(土) 熊本 9月19日(土) 水ドルアンル・東京地県島 12 9月10日(土) 大阪奈良 9月26日(土) 株俗 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支京 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 横浜川崎・湘南 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 南端川県内23日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス		6月27日(土)	山口グランドホテル		5月末
栃木 7月4日生) ホテルマイズテイズ宇都宮 25 7月9日(土) 秋田 7月4日(土) 秋田キャッスルホテル 19 6月4日(土) 千葉 7月4日(土) 千葉スカイウィング 東天紅 54 7月2日(土) 徳島 7月18日(土) 阿波観光ホテル 11 7月 東海 7月25日(土) トヨタ産業技術記念館 22 7月 お本道 8月28日金) ホテルモントレエーデルホフ札幌 40 9月 時間 9月5日(土) 銀座アスター浦和賃館 56 9月10日(土) 銀座アスター浦和賃館 56 9月10日(土) 熊木 9月12日(土) 銀座アスター浦和賃館 56 9月10日(土) 熊木 9月19日(土) ホテルレクストン鹿児島 12 9月17日(土) 熊本 9月19日(土) 水ゲルクストン鹿児島 12 9月17日(土) 大阪奈良 9月26日(土) 株谷 がんこ寿司 22 時期末定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) メルパルク岡山 10月3日(土) 10月3日(土) 大切パルク岡山 10月3日(土) メルパルク岡山 10月3日(土) 大分 10月24日(土) 大分・10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月 10月 大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月下旬 た賃 10月24日(土) 長崎 10月31日(土) 長崎 10月31日(土) 長崎 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 1月 日日	山形	6月27日(土)	ホテルメトロポリタン山形	18	7月初旬
秋田	鳥取	6月27日(土)	皆生シーサイドホテル		7月2日(土)~3日(日)
千葉 7月4日(土) 千葉スカイウィング 東天紅 54 7月2日(土) 徳島 7月18日(土) 阿波観光ホテル 11 7月 東海 7月25日(土) トヨタ産業技術記念館 22 7月 北海道 8月28日(金) ホテルモントレエーデルホフ札幌 40 9月 静岡 9月5日(土) ホテルモントレエーデルホフ札幌 40 9月 埼玉 9月12日(土) 北テルレクストン鹿児島 12 9月10日(土) 熊本 9月19日(土) KKRホテル 24 9月17日(土) 大阪奈良 9月26日(土) 桃谷 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部((横浜川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 高山 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 福岡 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 福岡 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 福岡 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 海流 10月2日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) <t< td=""><td>栃木</td><td></td><td>ホテルマイズテイズ宇都宮</td><td>25</td><td>7月9日(土)</td></t<>	栃木		ホテルマイズテイズ宇都宮	25	7月9日(土)
徳島 7月18日(土) 阿波観光ホテル 11 7月 東海 7月25日(土) トヨタ産業技術記念館 22 7月 北海道 8月28日(金) ホテルモントレエーデルホフ札幌 40 9月 静岡 9月5日(土) ホテルアシア静岡 43 9月 埼玉 9月12日(土) 銀座アスター浦和賓館 56 9月10日(土) 熊木 9月19日(土) KRRホテル 24 9月17日(土) 横京島 9月26日(土) 株容 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 岡山 10月3日(土) メルバルク岡山 10 10月8日(土) 福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) 大分セシチュリーホテル 12 10月下旬 佐賀 10月31日(土) 東京派・大分セシチュリーホテル 6 イカ30日(土) 東崎 10月31日(土) 東京派・大分セシチュリーホテル 11月<		7月4日(土)			
東海 7月25日(土) トヨタ産業技術記念館 22 7月 北海道 8月28日(金) ホテルモントレエーデルホフ札幌 40 9月 静岡 9月5日(土) ホテルアソシア静岡 43 9月 埼玉 9月12日(土) 銀座アスター浦和賞館 56 9月10日(土) 鹿児島 9月12日(土) ホテルレクストン鹿児島 12 9月10日(土) 大阪奈良 9月19日(土) KKRホテル 24 9月17日(土) 横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 南山 10月3日(土) メルパルク岡山 10 10月8日(土) 福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 10月下旬 佐賀 10月24日(土) 表ぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 東原県イン 32 11月 英城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月1日(土) 本アンド・レギュウム 8 1月 前衛河 11月26日(木) 赤原県産設(株)本社 19 富山 11月14日(土) 第二県産院 (本) <				54	
北海道				11	7月
静岡 9月5日(土) ホテルアソシア静岡 43 9月 埼玉 9月12日(土) 銀座アスター浦和賓館 56 9月10日(土) 鹿児島 9月12日(土) ホテルレクストン鹿児島 12 9月10日(土) 熊本 9月19日(土) KKRホテル 24 9月17日(土) 大阪奈良 9月26日(土) 桃谷 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 岡山 10月3日(土) メルパルク岡山 10 10月8日(土) 福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月下旬 佐賀 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 東戸東急イン 32 11月 英城 11月1日(日) 本戸東急イン 32 11月 茨城 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月4日(金) ボ島建設・ボラル 19 19	東海	7月25日(土)	トヨタ産業技術記念館	22	
埼玉 9月12日(土) 銀座アスター浦和寳館 56 9月10日(土) 度児島 9月12日(土) ホテルレクストン鹿児島 12 9月10日(土) 熊本 9月19日(土) KKRホテル 24 9月17日(土) 大阪奈良 9月26日(土) 桃谷 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 10月3日(土) 平和楼 21 10月 10月	北海道		ホテルモントレエーデルホフ札幌	40	
鹿児島 9月12日(土) ホテルレクストン鹿児島 12 9月10日(土) 熊本 9月19日(土) KKRホテル 24 9月17日(土) 大阪奈良 9月26日(土) 桃谷 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 岡山 10月3日(土) メルパルク岡山 10 10月8日(土) 福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 長崎Kホテル 6 7月30日(土) 長崎 10月31日(土) 東戸東急イン 32 11月 英城 11月1日(日) 水戸三の丸ホテル 39 11月 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜が一デン 60 7 飛島社会 12月4日(金) 飛島建設(株) 本社 19 19 和総会 12月3日(金) 川崎日航ホテルドレギュウム 8 1月 <td></td> <td>9月5日(土)</td> <td>ホテルアソシア静岡</td> <td></td> <td></td>		9月5日(土)	ホテルアソシア静岡		
熊本 9月19日(土) KKRホテル 24 9月17日(土) 大阪奈良 9月26日(土) 桃谷 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 岡山 10月3日(土) メルパルク岡山 10 10月8日(土) 福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月下旬 佐賀 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 長崎Kホテル 6 7月30日(土) 兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 11月 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 60 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					
大阪奈良 9月26日(土) 桃谷 がんこ寿司 22 時期未定 神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 岡山 10月3日(土) メルパルク岡山 10 10月8日(土) 福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月下旬 佐賀 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 長崎IKホテル 6 7月30日(土) 兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 11月 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜リーデン 60 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 1月 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56	鹿児島				
神奈川県内3支部 (横浜・川崎・湘南) 10月3日(土) 東京都市大学 横浜キャンパス 横/32・川/24・湘/11 10月1日(土) 岡山 10月3日(土) メルパルク岡山 10 10月8日(土) 福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月下旬 佐賀 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 長崎IKホテル 6 7月30日(土) 兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56	熊本				
(横浜・川崎・湘南)		9月26日(土)	桃谷 がんこ寿司	22	時期未定
福岡 10月15日(木) 平和楼 21 10月 2 10月 2 10月 2 10月 10月 2 10月 10月 2 10月		10月3日(土)	東京都市大学 横浜キャンパス	横/32・川/24・湘/11	10月1日(土)
宮城 10月23日(金) ハーネル仙台 29 10月 大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月下旬 佐賀 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 長崎IKホテル 6 7月30日(土) 兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					
大分 10月24日(土) 大分センチュリーホテル 12 10月下旬 佐賀 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 長崎IKホテル 6 7月30日(土) 兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					
佐賀 10月24日(土) きぶん 6 11月2日(水) 長崎 10月31日(土) 長崎IKホテル 6 7月30日(土) 兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56		10月23日(金)	ハーネル仙台		10月
長崎 10月31日(土) 長崎IKホテル 6 7月30日(土) 兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56				12	
兵庫 11月1日(日) 神戸東急イン 32 11月 茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					
茨城 11月7日(土) 水戸三の丸ホテル 39 富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					7月30日(土)
富山 11月14日(土) 富山県民会館 16 6月 横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					11月
横浜市役所 11月26日(木) ホテル横浜ガーデン 60 飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					
飛島柏会 12月4日(金) 飛島建設(株)本社 19 和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					6月
和歌山 平成28年1月31日(日) アンド・レギュウム 8 1月 川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56	17 477 4 1 12 4771				
川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56					
川崎市役所 2月5日(金) 川崎日航ホテル 56 新潟 2月27日(土) 信濃川 次号にて報告 平成29年2月の第2か第3土曜日頃					1月
新潟 2月27日(土) 信濃川 次号にて報告 平成29年2月の第2か第3土曜日頃					
	新潟	2月27日(土)	信濃川	次号にて報告	平成29年2月の第2か第3土曜日頃

◆北海道支部近況報告

事務局 小林 一郎(S53電気)

北海道支部は例年春に役員会、夏に支部総会を開催しております。

平成27年度は3月26日に役員会、8月28日に総会を開催しました。

校友会本部のご尽力により支部会員40人、大学からは湯本副学長(S47電気)、校友会からは松村副会長(S49機械)、川辺副会長(S50国文)にご出席頂きました。大学の近況並びに校友会の活動などのお話を頂き、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今回の総会から北海道支部総会として北海道在住の旧武蔵工業会と旧美砂会の皆様に連絡申し上げたところ旧武蔵工業会から36名、美砂会から4名の方の参加を頂きました。

北海道支部は建築学科主体の如学会、土木工学科主体の緑土会、電気・通信工学科主体のテラの会、機械・生産機械・経営工学科主体のキュービックM会の4つの会にて、3年交代で運営しておりますが、新しい学科の卒業生の増加、美砂会との統合によって支部規約の変更並びに組織変更が必要と考えております。

今後北海道支部校友会活動の最大の課題は卒業生の参加の減少、特に若い卒業生の校友会への関心の無さです。

北海道出身者の我校への進学の減少、卒業生の北海道に就職

※平成28年度支部総会開催予定の詳細はホームページにてご確認ください。

する者の減少もあります。例年の北海道支部総会の参加人数は 40名程で推移しておりますが将来の展望が見えません。

我々OBが活動を活発化することにより、開拓者精神を受け継ぐ我が校の優秀な卒業生が北海道の大地で活躍してくれることを願っております。

北海道の企業も本州大手企業に勝るとも劣らない夢のある企業があります。卒業生の皆さん、在校生の皆さん北海道に根をおろし支部の一員として語らい活躍しましょう。また支部会員の皆さん校友会活動に参加し、いつまでも友好を温めましょう。



◆宮城支部の悩み?

会計 渡辺 憲市 (H1土木)

1. 役員の紹介

現在、宮城支部は以下の役員のもと活動を行っています。

・支部長:村上啓二(S48土木)・幹事長:佐藤修(S50機械)・事務局長:峯岸雄一(S51土木)・会計:渡辺憲市(H1土木)

2. 慣例行事

宮城支部の主な慣例行事は「新年会」「暑気払い」「忘年会」です。概ね平均的に30名弱の参加があります。すべての会の特徴は司会進行役の幹事長が何かにかこつけてすべての人に自己紹介をさせることです。皆さまが好き放題に歓談すると初めて来た人がひとりぼっちになってしまう可能性があります。そのため「自己紹介」「近況報告」などを行うことによって皆さまが一体となって「皆で歓談する」という進行にしています。

3. 宮城支部の悩み(会員の高齢化)

毎回の行事では気の合った仲間が集まって楽しいひと時を過ごしております。しかしあるときふと感じたことがありました。「若い人がいない。20代、30代が少ない。このままだとやがてOB会でなく老人会になってしまう・・・」 年齢構成を確認したところ参加者の約7割が60才以上でした。

この理由としてまず参加者の固定化があります。顔ぶれがほとんど変わっていません。またその逆の見方をすると新規の参加者がいません。新規の若い方の参加がない限り高齢化は進みます。新規メンバーの参加が急務と考えました。

4. 打開策

新規メンバーの参加について役員が集まって策を練りました。「一度でも来た人には案内を送る」「知り合い・同期をたより声掛けする」「他の支部ではどうしているか?」「若い人が参加したくなるOB会とする」

ちなみに社内で東京の私立大学(中央大、日大、芝浦工大など)の出身者に聞いてみました。その結果、ほとんどの大学では「OB会をやっていない。」でした。逆に「東京都市大は仙台でOB会をやっているのですか?」と驚かれてしまいました。それを聞いて妙に納得し、打開策はおろかむしろ「やっているだけマシか?」などと自分を慰めてしまいました。

5. まとめ

ある年配の先輩が興味深いことを言っていました。「どこの 大学も一緒だよ。若いうちはいろいろ忙しくて時間がないので 参加しない。しかし段々と歳をとって相手にしてくれる人が少 なくなって人恋しくなってOB会に参加するのさ。どれだけ若 い人に叫んでも届かないよ。」

他の支部では同じような悩みを抱えていませんか?もし打開 策があれば教えて欲しいです。



◆秋田支部だより

事務局 小松 俊光 (S60建築)

平成27年度秋田支部総会が、7月4日(土)に「秋田キャッスルホテル」において、東京都市大学より学長代理として工学部長の大上浩教授(S56機械)、校友会より副会長の松村慶一様(S49機械)、常任幹事の石田弥様(S45電気)、幹事の小林菊恵様(S33家政)と田﨑博美様(S49国文)を来賓にお迎えし、秋田支部会員19名(旧武蔵工業会14名、旧美砂会5名)の参加にて開催されました。

平成26年度に統合して2年目となる平成27年度は、総会・懇親会、親睦ゴルフコンペ、統合記念親睦ビアパーティー、家族参加型新年親睦会、事業準備のための役員会の開催を事業としております。

総会後の懇親会では、大上教授からは大学の現況、松村副会長からは校友会の現況をうかがい、出席者それぞれが自己紹介を兼ね近況報告を行いました。また、日中に行われた親睦ゴルフコンペ(於:秋田カントリー倶楽部)の表彰も行われ、石田弥氏(S45電気)が優勝されました。会の終盤は、OBやOGの先輩の方々と親交を深めることができ、最後は「武蔵工業大学」「東横学園女子短期大学」の校歌をそれぞれの卒業生で歌い、「東京都市大学」の校歌は出席者全員で歌いました。岩田幸久氏(H2機械)が東京都市大学へのエールをおくり、懇親会を閉会しました。

8月29日(土)には、統合記念親睦ビアパーティーを「秋田キャッスルホテル」にて行いました。参加者は10名(旧武蔵工業会6名旧美砂会4名)でしたが、ゆったりとした雰囲気の中で楽しい会話を楽しむことができました。2次会は秋田の繁華街の川反に移動し、鈴木眞澄氏(H6機械)がオーナーの「ISOLA」にて行いました。

毎年恒例の家族参加型の新年親睦会は年始めに行う予定となっております。H26年度は1月24日(土)に和食「すがわら」にて21名の参加で行われました。子供と一緒に家族で参加は2組、ご夫婦で参加は2組、会員の参加は10名となりました。子供達の声が場を和ませるものとなり、家族ぐるみの交流深まるものとなりました。

これからも、秋田支部会員の皆様との親睦を図り、秋田支部らしい家族ぐるみの活動を続けて行きたいと考えております。

最後になりましたが、東京都市大学校友会の今後益々のご隆 盛を祈念いたします。



◆山形県支部

副支部長 高橋 加津美(S50国文)

校友会山形支部では、平成26年度に「武蔵工業会」と「美砂会」が一つになって初めての校友会総会が開催されました。27年度は双方の会から19名の出席者があり、和やかに賑やかに総

地方支部だより

会が開催されました。二次会は更に盛り上がったと聞き及んでおります。

皆様で存じのとおり、我が山形県は南北に長く、諸般の交通 事情で、庄内地方からの出席者には「宿泊」もしくは「飲まず に運転して帰る」という足かせが付くのですが、それにも関わ らず庄内から馳せ参じて下さった方が複数いらっしゃったのは うれしい限りでありました。

手さぐりではあるものの、着実に確実に校友会支部としての礎が築かれている気がしているところです。

さて、このような活動のご報告をいたしますと、すこぶる順調に校友会支部がスタートしたのではないかと思われましょうが、決してそうではありません。

当の私も「支部総会の打ち合わせを殿方と行う!?」ということの違和感が拭えず、及び腰で出掛けて行ったものでした。殿方の方も事情は同じはずです。二つの支部が合併するということは、兵(つわもの)の戦場に、大奥のおなご衆が輿で乗り入れるようなもので、双方混乱するのはごくごく当たり前のことでしょう。しかし、その戸惑いを凌駕したものは、武蔵工業会山形支部の活動への敬意の思いでした。羽州山形の兵達は自前のホームページを作り、参加者の固定化や減少の悩みはあったというものの、連綿と支部会の開催を継続させているではありませんか。これは組織力と、歴代の支部役員・事務局のスタッフの方々の努力とお人柄のなせる技でありましょう。そして、名ばかりの支部長であった自分を省みることともなりました。

これからの校友会は、双方の支部会の伝統や個性をどんどん 取り入れ、新しい歴史を作っていくしかありません。

(元)箱入り娘ばかりの美砂会ではありますが、たすき掛けをして兵の仲間に入れてもらいましょう。ともすれば女性人のかしましさに兵の方々は腰が引けているやもしれません。28年度の支部総会・例会には一人でも多くの参加者が増えることを願っています。

山形支部だけではなく、他県でも同じような戸惑いがあろうかと存じますが、ためらうのであれば、とりあえず「参加してみる」ことを是非お勧めいたします。



◆平成27年度 福島県支部

幹事 田母神 吉典(S61土木)

福島県支部は、昭和26年(1951年)に設立され、会員数は 約600名となっています。

福島県支部総会は県内4方部(福島、いわき、会津、郡山) の持ち回りで開催されており、平成27年度は6月6日(土)に 郡山市の磐梯熱海温泉「栄楽館」にて行われました。

校友会から松下正勝前会長(S40土木)、松村慶一副会長・ 支部委員長(S49機械)、石田彌常任幹事・財務委員長(S45 電気)の3名を来賓としてお迎えし、支部会員を合わせて総 勢29名の参加となりました。今回で、41回目の開催となります。

総会では佐藤支部長(S37土木)の挨拶の後、御来賓の校友 会会長の松下様、副会長の松村様、常任幹事の石田様からご挨 拶をいただきました。

議事は、例年通りに、事業経過報告や収支決算、本年度の収支予算案などについて進められました。平成26年度事業経過報告では、会津若松市で開催された支部総会(H26,6,7)、校友会定期総会への支部長出席、北海道・東北地区支部長会議への支部長出席、年会費納入者への総会資料・支部会員名簿の送付等が報告され、平成27年度収支予算案では、総会開催や名簿印刷費、校友会本部への総会出席などについて承認されました。又、昨年からの課題となっていました、旧美砂会との統合について話し合われました。旧美砂会の福島県支部がないため、統合するにも旧美砂会の会員の方との連絡をどのようにすればよいのか等の課題があり、支部長をはじめ、役員の方々も苦労されているとのことでした。今回の校友会報をご覧になりました旧美砂会会員の方から、ご連絡をいただけますと幸いです。最後に、来年の支部総会の開催地が福島市に決まり、総会は無事終了いたしました。

支部総会終了後、18時から懇親会を開催いたしました。一年に一回の懇親会の為、旧知の仲間や、先輩後輩の仲間とともに、いろいろな話題で盛り上がりました。懇親会の最後には、恒例の校歌を合唱し、にぎやかな雰囲気の中、懇親会が終了しました。

翌日は、昨年から再開されました支部長杯ゴルフコンペが、 郡山熱海カントリークラブにて開催され、校友会からの3名の 来賓の方を交えて10名が参加、常任幹事の石田様が2年連続優 勝をされました。

次年度の支部総会は、平成28年6月4日(土)に福島地区で開催される予定です。まだ参加されていない方々も、気さくで、明朗な方々ばかりの福島県支部ですので、ぜひ、一度御参加いただければ嬉しく思います。

最後に、本総会が盛大に、無事開催ができましたこと、校友 会ならびに支部会員の皆様に感謝を申し上げます。



◆栃木支部

副幹事長兼会計 上野 拓也(H7経営)

日頃より、関係者の皆様には栃木支部の活動に多大なご協力・ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。

まずは、平成27年7月4日に開催させて頂きました、毎年恒 例の栃木支部総会についてご報告申し上げます。

今回で39回目を迎える栃木支部の総会・懇親会をホテルマイステイズ宇都宮にて盛大にとり行いました。今回の支部総会から、名実ともに東京都市大学校友会栃木支部として、栃木県在住の旧美砂会と旧武蔵工業会と東京都市大学卒業の会員に総会参加のお声掛けをいたしました。

校友会本部からは、ご来賓として校友会会長 吉田勝様、学 長代理として東京都市大学工学部都市工学科教授 吉川弘道先 生をお迎えし、25名の会員に参加を頂きました。

前半の総会議事の後、本年より開設した栃木支部ホームページ について、概要紹介、今後の活用方法・展望について、参加会員の 皆様に説明をさせて頂きました。

ご来賓の方々からは、東京都市大学の近況ならびに校友会活動についてそれぞれご説明を頂きました。

毎年の恒例となっている講演会につきましては、高橋徳経様(S41通信、株式会社アイ電子工業 代表取締役会長)より、『波乱万丈の企業経営について』と題して、今日までの企業経営の歩みについて、様々な経験談を交えてお話し頂きました。

第2部の懇親会では、参加会員とご来賓の方々との和やかな 歓談が行われ、数年ぶりにご出席頂いた会員も学生時代の懐か しい話や、最近の大学の近況話に花が咲き、2時間の懇親会時 間が惜しまれつつ終了しました。

本年度は残念ながら、旧美砂会会員のご出席は頂けませんで したが、来年度の総会では是非ご参加を頂き、今年以上に賑や かな総会になることを期待しております。

栃木支部の平成27年度事業計画については、

- 1. 名簿の作成と支部ホームページの立ち上げ
- 2. 大学行事に関する協力
- 3. 本部総会への出席
- 4. 第40回支部総会、役員会の開催
- 5. 親睦事業開催ならびに会員拡大の取組み

を重点事項として、支部一丸となって取り組んでまいります。

特に、栃木支部ホームページにつきましては、今後更なる内容の充実化を図りながら、栃木支部活動の活性化、参加会員増強に向けた支部活動の積極的な発信を定期的に行ってまいりたいと考えております。

その他、栃木支部の名簿のリニューアル作業や参加会員の拡大に向けた取組等、栃木支部の活動が活発になるよう、様々な企画を実施してまいりたいと思いますので、引き続き関係各位のご協力・ご指導・ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆茨城支部総会・懇親会(2015)の開催報告

支部長 須藤 賢一(S49土木)

茨城支部では2年でとに総会・懇親会を開催しておりますが、平成27年11月7日(土)に校友会から吉田勝会長(S43建築)、川辺加代子副会長(S50国文)そして大学から大谷眞一教授(S51機械)の出席をいただき、水戸駅前のホテルで武蔵工業会と美砂会との統合後初の総会が開催されました。

支部会員は北茨城市、潮来市、取手市、守谷市、古河市など 遠方からの参加もあり39名となり、そのうち新美砂会からは3 名の参加でした。

総会では、恒例となっている近況報告で国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)東海管理センター井上孝治(S53機械)さんから「原子力事業所の事業概要」と題して昨今話題が尽きない原子力関連の職場の紹介がありました。ま

た、茨城出身の大畠章宏代 議士(S49院機械、元経済 産業・国土交通大臣)から 政治家になった「いきさ つ」等のお話がありまし た。総会・懇親会の司会 は朝倉伸治(S63機械)さ



ん、懇親会の乾杯は廣澤行雄(S37土木)さん、中締めは樋ノ 口英嗣ひたちなか市議(S47経営・元議長)。そして、校歌斉 唱については東京都市大学校歌、東横学園女子短期大学校歌、 武蔵工業大学校歌すべてにおいて熊倉豊彦(S45院電気)さん のハーモニカの伴奏で行いました。熊倉さんの努力に感謝・感 謝です。

また、ホテルの近くの居酒屋での二次会にも、ご来賓(3名)、新美砂会(3名)を含め20名を超える方の参加があり大変盛り上がりました。校友会本部・茨城支部幹事及び沢山の方々のご協力によるものであり感謝しております。

総会・懇親会のご紹介は以上ですが、詳細は茨城支部のホームページで。校友会のホームページから茨城支部をクリックしてください。このホームページも熊倉さん個人の力によるものです。ぜひご覧ください。

最後になりますが、総会開催の通知は校友会から発送しております。茨城支部では武蔵工業大学卒960名、東横学園女子短期大学卒364名、東京都市大卒161名の合計1485名とのことです。茨城支部が県内の皆様の交流のきっかけとなればと思います。3か月に1回程度幹事会と称して食事会を開催して意見交換をしております。どなたでも参加をお待ちしています。開催はホームページに掲載します。(時間:18:00~20:00、場所:福徳(水戸))



◆埼玉支部だより

支部長 岩間 義人(S40土木)

平成27年度埼玉支部の総会・懇親会は9月12日(土)さいたま市の「銀座アスター浦和賓館」にて開催しました。

総会は新美砂会の初めての参加や会場の変更等もあり参加数を含め何かと不安を抱えた開催でした。

総会・懇親会には、学長代理として、皆川教授(S54土木)、校友会からは、松村副会長(S49機械)、川辺副会長(S50国文)、常任幹事の大谷教授(S51機械)と衣斐常任幹事(S55家政)、田崎幹事(S49国文)、松下前会長(S40土木)と多数の来賓の方の出席を頂きました。

総会では各議案を審議頂きその後、懇親会となりました。

懇親会では皆川学長代理と、松村校友会副会長の挨拶を頂き、副島相談役(S32通信)の乾杯にて宴となりました。

総会、懇親会には新美砂会埼玉在住の、大原(S43家政)、 浦崎(S46家政)、桑田(S49国文)、山口(S50家政)、内田 (S53家政)、角田(S57家政)、飯塚(S58国文)の各氏の出 席を頂き、来賓12名、会員45名の総勢57名になる当初の不安 を払拭する盛大な会となりました。

S24年卒の大先輩からH23年卒の若手会員迄の幅広い参加を 頂き、又新美砂会員の参加もあり和気藹々とした雰囲気の中、 各来賓の挨拶や新会員の自己紹介ありで予定より1時間も延長 しての楽しい懇談の時間を過ごし、最後は荻原相談役(S24土

地方支部だより

木) の手締めでの閉会となりました。

又総会に先立ち、当会場の別室にて関東甲信越地区支部長会 議も開催され、これには 松村副会長、松下前会長と平川横浜 (S44電気)、関口栃木(S44土木)、宮嵜千葉(S44土木)、 高橋長野(S45建築)、大屋湘南(S45機械)、須藤茨城(\$49 土木)の各支部長が、又埼玉からは岩間、坂本幹事長(S49通 信)が出席しました。

各支部長には会議終了後も引き続き総会、懇親会にも参加頂 きました。

平成28年度の総会は9月10日(土)の開催を予定しておりま す。支部活動の活性化をより進めたいと考えておりますので、 校友会の更なるご指導、ご支援をお願いします。



◆27年度千葉支部総会

宮嵜 義昭(S44土木)

校友会千葉支部の総会・懇親会は7月第1土曜日の7月4日に 千葉センシティービル23階東天紅で開催されました。

出席者は武蔵工業会出身者40名、美砂会出身者が15名の総 勢55名(内来賓9名)でした。全員の記念写真をとり、総会は 開催されました。

総会は全議案が原案通り支部規約の改正がされ、新役員が承 認されました。議事終了後に中村前支部長(S33建築)の功労 者表彰の紹介と職場支部千葉県庁武葉会の滝浪支部長(S55土 木) へ委嘱状が手渡され、総会は終了し懇親会となりました。

懇親会の冒頭、皆川学長代理(S54土木)より大学の現状が 説明され、原口校友会副会長(S49通信)より校友会の現状と 今後の方針の説明がありました。乾杯後来賓よりご挨拶を賜り ました。また、松下前校友会会長(S40土木)より在任中の皆 様のご協力に対し感謝のお言葉をいただきました。

今回、懇親会では美砂会の方々が多く出席されましたので 全員による自己紹介を兼ねたショートスピーチを行い、会場は すっかり学生時代に戻り、大いに盛り上がりました。

懇親会は東横学園女子短期大学と武蔵工業大学の校歌を斉唱 し、お開きとなりました。

千葉支部は平成27年度2月に武葉会との合同研修会と平成28



年度総会に多くの方々が出席し易くするため会費の低減を検討

最後に総会準備に奮闘された皆様、突然の司会指名された中 町君(H07土木)に感謝すると共に、御出席された皆様のご健 康をお祈り致します。

◆横浜支部総会

支部長 平川 完(S44電気)

横浜支部長となって初めての支部総会が10月3日(土)に横浜 キャンパスで開かれました。一昨年は校友会となって武蔵工業 会と美砂会が一緒になり、確実な方針が決まっていなかったの で、支部総会は開かれませんでしたので、2年ぶりの総会と言う 事になります。15時からの総会は40分位で無事終了しました。

その後16時30分から横浜・川崎・湘南と神奈川県内の3支 部合同での懇親会が、湯本副学長(S47電気)、吉田校友会会 長、大畠衆議院議員(S49院機械)等来賓の皆様も出席し、総 勢62名の参加で開かれました。懇親会の始まる前に写真撮影 し、懇親会の中ではビンゴ大会も開催され、全員賞品を獲得 し、和気藹々の内に懇親会も最後を迎え、各校歌を斉唱して解 散致しました。

神奈川県内には約2万名もの卒業生がいるので、総会開催に 際して県内の会員全員に連絡を取るのは無理なので、校友会報 及び校友会のホームページでの案内になります。総会の案内を ご覧になっていない方も多くいると思いますので、皆さんお誘 い合わせの上、多くの方に参加して頂きたいと思います。

又来年からは神奈川支部として、県内在住の人は勿論、県内在 職の人も含めて全卒業生の為に何か出来る支部を目指し、横浜・川 崎・湘南と神奈川県内の3支部が同じ10月の第一土曜日に総会・ 懇親会を開催する方向で進めています。又その他の行事やイベン ト等を開催し、多くの人にお役に立てる支部を目指しています。支 部には多くの先生方も在籍しているし、横浜キャンパスと言う校舎 も有るので、卒業生が気軽に各種相談出来る場を作って行きたい と考えています。

久しぶりに同窓会の役職につきますが、武蔵工業会の時と は違った雰囲気の中で、都市大学同窓生と学生などの役に立て る、又同窓生が一緒に集い楽しめる支部を目指した、新しい校 友会支部を作りたいと考えていますので、支部役員や会員の皆 様のご協力と、ご支援をお願いしたいと思います。又支部を良 くする為の意見や各種行事に対する提案など有りましたら、遠 慮なく平川まで連絡して下さい。



▶湘南支部だより

支部長 大屋 廣茂 (S46機械)

10月3日横浜キャンパスにて湘南支部の総会を行いました。 このことは湘南支部として大変意義深いことと考えておりま す。それは湘南支部発足時にさかのぼりますが、多くの卒業生 及び学生諸君にとって、存在感の薄い校友会(当時は武蔵工業 会) を多くの卒業生にとって本当に価値あるものにして行こう と言う熱い思いで小さく発足したからです。

もちろん今まで同窓会を運営されてこられた多くの先輩方の御努力は頭の下がる、特筆すべきものと考えておりますが、武蔵工業大学から東京都市大学に校名変更という将来に対する大きな洗礼を受け、今こそ我々も生まれ変わらねばならないと言う熱い思いを胸に山根幹事長(S46機械)、海老沼副支部長(S49経営)はじめ会計をお願いしてきた山田氏(S44機械)等、幹部諸氏共々スタートし、多くの卒業生、そして現役の学生にも魅力ある校友会にする為には何時かはもっと大きな支部にして行こうと考えているからです。

私見ですが、大学の価値はもちろん多くの要素がありますが、卒業生イコール大学の価値と言えなくはないでしょうか。

我々の校友会も、今や全体で9万人を超える大きな組織になってきております。かくいう私、大屋廣茂も早いもので何時の間にか社会人として一通りの事を終え、第2の人生に踏み出しており、この事実をもってしても時代が変わった事を認めざるを得ません。

この9万人の力を五島育英会、東京都市大学、そして校友会の為にどう生かしていくかは新執行部の方たちの双肩にかかっており、本当にご苦労様ではありますが、しっかりした舵取りをお願いするほかありません。

我が東京都市大学の将来は日本の将来に大きく依存して行くわけですが、その為には日本の国益を守る本当の力がこれからは必要ではないでしょうか。

日本の現在が何時の間にか不安定になっている事に、社会を見てこられた卒業生の皆様は御気付きではないでしょうか。政治(外交、憲法)、経済、教育、報道、どれ一つをとってみても、おかしな力が働いている様な違和感をお感じになりませんか。これも私見ですが、誤解を恐れずに言えば、当たり障りのない結論をいつも求めて彷徨う様な集団では、将来の日本の国益に資するべく人材の育成は出来ませんし、そして我々が校友会の一員として、いま日本の直面している多様な課題に正面から答えを出し行動して行く事が、ひいては人材の育成に繋がって行くと思います。校友会の中から、将来の夢ある日本を作っていく為、大いに議論して行こうではありませんか。最後になりますが、短い時間であったとは言え湘南支部として納得のいく活動ができなかったことを深く反省しまたお詫びし、ご報告といたします。

◆川崎支部

支部長 赤津 武雄(S40電気)

川崎支部は神奈川県内の他の地方支部(横浜支部、湘南支部)と一緒になっての総会が10月3日(土)東京都市大学横浜キャンパスで開催されました。

当日のスケジュールは、まず三つの支部がそれぞれ独立に総会を開催し、その後参加者全員で懇親会を行うというものでした。川崎支部の総会では三支部統合に関して会員から諸々のご意見をうかがうことから始め、今年度末までの大まかな支部活動の予定を発表しました。今年度は役員改選の年ではありますが、特に話し合いも行わず現役員が留任の形となりました。

川崎支部としての活動予定として10月と3月に川崎市内を散策するハイキングを企画するとしておりましたが、秋のイベントは11月14日に実施がずれこみました。当日は雨の中川崎北部市場と川崎民家園を巡りました。

会員の皆様へのメールを利用した連絡もできるようになりましたので、3月のイベントを企画中です。

小規模でスタートしたイベントが次第に大規模になり、支部 全体のイベントに成長していくなら嬉しいことですし、多くの イベントに参加する機会が増えることも支部活性化につながる ものと考えています。

今後ともご協力宜しくお願いします。



平成28年度神奈川県3支部合同総会

1. 開催日時:平成28年10月1日(土)

2. 開催場所:東京都市大学横浜キャンパス

3. 参加費用:懇親会費=男性 4,000円、

女性 3,000円、新卒業生 1,000円

校友会員以外の参加も歓迎いたします。参加費は 上記と同じ。

4. 当日の予定:総 会 14:00~14:45

講演会 14:45 ~ 15:30 最近の学校説明 15:30 ~ 16:00

懇親会 16:30 ~ 18:30

懇親会の前に写真撮影を行う予定です。当日の予定は6月頃に決定します。決定次第校友会ホームページ上でお知らせします。又昨年度総会出席者には個別に案内状を発送する予定です。詳しくはホームページの神奈川県支部総会開催案内又は郵送するお知らせをご覧下さい。

◆長野支部だより

支部長 高橋 重徳(S45建築)

東京都市大学塩尻高等学校を訪問して

■全国大会出場の両部に活動支援

平成27年度の男子サッカー部は、前年度に続き連続出場。女子バレー部も5年連続出場を決め、大いに期待することになりました。両部の大会での健闘を祈り、支部より激励を込めて、赤羽校長先生にお祝いを贈呈致しました。

この様なスポーツ部の目覚まし い活躍が、多くのマスコミ報道をさ





れ、『都市大』の知名度アップの貢献をされています。地元校友 会も、感謝したいと思います。

■『創造』と『品性』を感じる新校舎施設を見学

平成26年8月に整備された学校施設を小澤事務長さんのご案内で、支部役員と共に見学させて頂きました。

今度の事業は学校改革に伴う施設整備のコンセプトに従い、21世紀型のキャンパスを目指したものであるとのことです。そして、

地方支部だより

最新の設備を備えた様々な工夫や設計がなされ、既存施設の改築 も含めて総合的に実施されたとのご説明を受けました。

全体としての第一印象は、明るく爽やか、清楚なモダンデザ インで、心地良い空間構成の施設であることです。これは、一 般の公共施設や他の類似施設では味わえない好感度な雰囲気で した。

施設全体の構成は各エリアに分かれ、広々とした通路動線と パティオによる明解な配置計画で造られています。さらにゆと りのあるスピリッツ感と相まって、快適な学園生活を送るため の機能空間で造られてもいます。そして、メインのアリーナ棟 は、1階を吹抜の講堂とし3階をギャラリー付き吹抜とした2層 建のダイナミックな構成によって、敷地の有効活用を達成して います。合理性の中で様々な環境対策や、省エネ対応などの技 術や設備を積極的に導入すると共に、可動式観覧席を備えるな どの多機能で、防災や避難上の配慮もされたハイブリッドな建 物でもありました。

新校舎4階には、学習支援センターが設けられており、図書 館などの学習支援のための拠点となる素晴らしい諸施設を見る こともできました。

見学を終えて、学校が目標としている『創造』と『品格』という思い を随所に感ずることができました。今後はハード面の完成を機に、 一層のソフト面での充実をはかり、塩尻校が活躍される事をご期待 し、私達もエールを送り続けたいと思います。





◆富山支部の活動について

幹事長 深松 降(S59土木)

東京都市大学 校友会富山支部は、平成26年10月に設立総会 を開催し今年で2年目を迎えました。平成27年度総会は、11月 14日に富山県民会館で開催し16名が出席しました。本部から のご来賓として松村慶一副会長、加藤祐子常任幹事にご出席い ただき最近の大学の話題や校友会全体の話などを聴かせていた だきました。

平成27年の富山支部の嬉しいニュースは、第27回東京理工6 大学OBゴルフ大会で、数年ぶりのAクラス(3位)入りを果た したことです。来年は優勝を目指したいと思います。

また横山栄県議会議員(S46経営)が、昨年4月より富山県議 会議長に就任されました。総会後の懇親会にて校友会富山支部 より花束を贈呈させていただきました。



◆静岡支部だより

千野 慎一郎(S41建築)

平成26年10月に旧美砂会と旧武蔵工業会の両静岡支部が統 合し、初めての校友会静岡支部総会が開催できました。今年度 は校友会支部として2年目の活動となりますが、一昨年10月以 後の活動も含めて報告します。

静岡支部は旧武蔵工業会では地理的な条件もあり東部、中 部、西部の三ブロックに分かれて活動していました。平成26年 から美砂会が加わり四分会で支部を構成しています。年一度の 総会は東、中、西の持ち回りで開催し、支部全体の活動や役員 人事は各分会選出の幹事と正副支部長で構成する常任幹事会で 決定します。

1. 各分会の活動

東部地区会:8月8日(土)納涼交流会(16名参加)

10月4日(日)新そばを食べる会(10名参加)

「高村豊先輩(91才、S18土木)の手打」

中部地区会:3月13日(金)定例懇親会(11名参加)

3月29日(日)会員壮行会(17名参加)

7月19日(日)懇親ゴルフ&役員会(7名参加)

西部地区会:12月6日(土)幹事会兼忘年会(7名参加)

8月23日(日)役員会(11名参加)

美 砂 会:副支部長退任に伴う役員選出

2. 常任幹事会

日時:5月24日(日) 会場:静岡駅前会議室

出席:役員9名、オブザーバー小林菊恵校友会副会長

議事:(1)支部総会の準備 (2)「東京都市大学フェアin静岡」と「保

護者会」への協力 (3)美砂会の役員人事

3.「大学と保護者との連絡会」への協力

東部地区:9月6日(日)(沼津会場)。中部地区:9月5日(土) (静岡会場)。西部地区:9月12日(土)(浜松会場)

4. 支部総会

日時:9月5日(土) 総 会15:30~16:00

懇親会16:30~18:30

会場:ホテルアソシア静岡4階カトレア

今年度の支部総会は「東京都市大学フェアin静岡」に合わせて



支部総会集合写真



東部会・新そばを食べる会

同じホテルで開催できました。出席会員は43名で、来賓として校友会の吉田会長よりご挨拶を、原口、松村、川辺の3副会長にもご臨席賜わり総会に華を添えていただきました。懇親会には「都市大フェア」で講演された三木学長、原口副会長のほかバスで東京より参加された役員や先輩役員の皆様等30名にご参加いただきました。さらに保護者も22名特別参加をされ、「都市大フェア」の懇親会ともなり賑やかに交流を深めることができました。

◆京滋支部の近況

支部長 廣原 美照(S51経営)

京都、滋賀合同の支部として平成22年度に旧近畿支部より分離発足いたしました。以来毎春、本部よりご来賓をお招きし総会・懇親会を実施しております。

平成27年度は5月30日京都駅前京阪ホテルにて、校友会本部より松下前会長(S40土木)、川辺副会長(S50国文)、田崎幹事(S49国文)の役員三名をお迎えし、新美砂会からも初めてご参加いただき総勢22名で通算6回目の総会・懇親会を和やかなうちに開催いたしました。

毎回のことですが同席上大いに盛り上がり、近場の居酒屋に場所を移した二次会でも総勢20名の参加でさらなる盛り上がりを見せました。ここから5~6名のつわもの?の方々は例年通り三次会へなだれ込んだ次第です。

年度行事では他に支部内同好会を結成して、さらなる懇親を 深める活動をしております。現在はゴルフ同好会、ウォーキン グ会の2つの会があります。

ゴルフ同好会は春、秋年二回、会場を滋賀・京都交互に移しながらコンペを楽しんでおります。特に近隣の他支部にもお声かけしながら平成27年度秋で7回目を迎え毎回総勢15名前後での開催となっております。

また、ウォーキング会では支部内同好会会員登録18名ほどを数え、毎回、和気あいあいと交流を深めております。平成27年11月22日には平成26年6月に引き続きご参加いただいた校友会の吉田会長(S43建築)も含め10名で琵琶湖湖岸を約10 km散策し、途中松尾芭蕉と木曽義仲の墓があることで有名な「義仲寺」などにも拝観し、琵琶湖周辺の史跡にも触れました。目的地到着後は乾杯でのどを潤し、バーベキューでお腹も満たしてれまた大いに盛り上がりました。総会と同好会、回を重ねるたびに益々懇親深まり相互交流の絆も太くなってきていると実感しております。

今後は京滋支部会員間はもちろんのこと各支部や本部との関わりも益々深め、いよいよ魅力的で元気な支部へと発展させるべく交流の輪を広げていこうと考えております。

まだ一度もご参加されたことのない京都・滋賀在住の皆様、





H27.4.11第5回京滋支部ゴルフ同好会 平成27年度京滋支部総会・懇親





H27.11.22 第3回京滋支部ウォーキング & BBQ会

ご卒業間もない若手の皆様、近隣支部の皆様ぜひ気軽にお声かけ下さい。

◆兵庫支部だより

事務局長 平井 景三(S46通信)

平成27年度支部総会が11月1日(日)神戸三宮東急REIホ テルで開催され、大学より環境学部教授の涌井先生をお招きし 講演頂きました。当日はTVの「サンデーモーニング」から中 国の南沙諸島進出に関するコメントを求められ出演要請があっ たにもかかわらず、校友会の方を優先頂いたとの事、本当に有 り難い事でした。講演テーマは日本に古くからある究極のリサ イクル技術を現代に応用展開しようという「グリーンエコプロ ジェクト」に関するものでした。当日の参加者は、涌井先生の 講演をぜひ聞きたいと初めて参加された方を含めて、過去最高 の総勢約40名を数え、先生の講演に大いに感銘を受けておりま した。新美砂会会員からも5名の参加があり、終了後の2次会 も盛り上がる中、若い上野さん(S53家政)、塚平さん(S62 英文)に幹事に就任頂く事となりました。これで兵庫支部の幹 事は旧武蔵工業会8名、新美砂会3名と一気に若返り、強化さ れ、今後の支部活動に新機軸が加わることが期待されます。そ の他の活動としては、25名の参加を得て、春に「姫路の官兵衛 ゆかりの地めぐり」と銘打って、日帰りバスツアーを挙行しま した。天守閣の保存修理が完成した姫路城を中心に名所旧跡を 巡り、一昨年のNHK大河ドラマの名シーンに思いを馳せまし た。又、兵庫支部主幹の関西地区支部間交流のゴルフコンペも 春・秋の2回実施しており秋は中村さん(S47通信)が優勝され ました。







地方支部だより

◆和歌山支部便り

支部長 那須 敏夫 (S49土木)

平成27年1月31日、第4回和歌山支部総会を和歌山市内の「city和歌山内アンドレギューム」で開催し、滞りなく終了いたしましたことを報告申し上げます。

平成26年度も、本部より前松下会長が遠くより駆けつけて下さいました。また、新たに栗山久(S50機械)、原田守啓(S35電気)両会員に初参加して頂きました。今回の総会は、東京都市大学校友会として初めて開催することで案内状をお送りし、和歌山県在住の東横学園女子短期大学出身者17名のうち11名の方から返信をいただきましたが出席0名でした。しかし、積極的な内容の方もあり今後の出席に繋がれば幸いに思いますと共にお待ちしています。ちなみに、武蔵工業大学出身者は52名中19名から返信をいただき、出席は8名でした。

和歌山県は、南北に長く新宮・串本方面は和歌山市から200 kmあります。車、電車でも片道約3時間近くかかります。よって、地域の校友会員との親交を図り、意見を聞くには田辺及び新宮・串本方面で地区懇談会を行って行く必要があると感じました。

2015年4月9日に私を含め田辺地区在住の会員3名で懇親会を行いました。話題は、昔の尾山台周辺で遊んだ話、居酒屋等の話で盛り上がりました。また、全員田辺高校であり共通の話題が多く話は尽きず時期をみて再会する約束をしました。

2015年11月14日に串本町で前年度に引き続き田辺市以南の会員を対象に懇親会を行い4名が出席しました。美砂会の方の出席はありませんでしたが、食事をしながら学生の頃の話、串本・田辺等の情報交換等を行い、親交を深めることが出来ました。

最後になりますが、未だ校友会の発展のための活動がすすんでいないことを大いに反省しています。皆様のお力添えをお願いしてご報告とさせて頂きます。

◆岡山支部/総会のご報告

幹事 山本 紘之(H12土木)

平成27年10月3日、東京都市大学校友会としては初めての岡山支部総会を岡山市内で開催しました。校友会本部の松村副会長をはじめ、縫部前中国四国地区代表、今崎島根支部長にも、遠路はるばるお越しいただきました。総会では、総会開催日の固定化や会則案の提案など、総会らしい?内容を盛り込みつつ、松村副会長より新旧の写真を交えて大学の近況をご紹介いただき、遠い記憶にある風景と重ねながら楽しませていただきました。二次会では、岡山名物「ままかり」や「黄にら」などを来賓の方にも楽しんでいただきながら諸先輩との情報交換ができました。岡山支部会員は平成27年現在で147名、この中で返信をい



ただいた方が58名、総会に出席された方は10名。次回より総会開催日を10月第2土曜日に固定する方針です。出席が困難な場合、返信だけでも結構です。多くの会員の皆様に何らかの形で関わっていただけますと幸いです。なお、吉木前山口支部長が急逝されたとのこと。同じ中国地区内の支部として、支部運営のアドバイスをいただくなど大変お世話になりました。ご冥福をお祈りします。

◆山口支部/歴史を紡ぐ命のリレー

支部長 小林 俊昭(S60建築)

尊き命の重みと遺志を受け継ぎ、新しい未来に向けて歩み始めます。平成27年初頭、現職支部長の吉木洋二氏(S53土木)の急逝は、私たち山口支部の会員一同にとりまして、大変な驚きとショックでありました。吉木氏は3年前に、これからの山口支部の発展に無くてはならない人材として、その正直な人柄と熱血漢あふれるエネルギーを、存分に発揮していただけるものと誰もが確信しておりました。ところが海外出張中にお体を悪くされ、悲しみの帰国となってしまいました。黙祷。ご冥福をお祈り致します。

昨年3月、新年度(平成27年度)が近づき、山口支部役員一同も新しい船出を誓い合うべく、後継支部長を含め、新しい人事を確認し合いました。平成27年6月27日開催の定期総会において、私がその後継支部長の任を仰せつかり、歴代支部長の礎を守り、前支部長吉木氏の遺志を受け継いで、未熟ながらも、会発展のために尽力する旨、誓った所存でございます。

山口支部の歴史は古く、終戦後まもない昭和26年に創設以 来、古き良き伝統を諸先輩方のご尽力で脈々と受け継ぎ、昨 年(平成27年)の支部総会で数えること第63回目となりまし た。支部会員数は179名(2014年3月1日時点)です。今総会に は、校友会本部より吉田勝会長並びに新美砂会副会長でもあら れる川辺加代子副会長のご臨席を得て、会員15名が参集しまし た。中でも、戦時中に卒業の上田卓先輩(S19機械)の元気な お姿に加え、昨年度から参加の都市大卒一期生の小林君(H25 経営)、更には今年初めて参加の紅一点・新美砂会より萩原さ ん(S53家政)と、大御所から新メンバーを交えての各世代間 の交流(写真は今年参加の面々で、皆さん多趣味多芸のオール スターばかりです)に、山口支部の新しい息吹を感じ、私自身 にとりましても力強い船出となり、これから臨む大海原が実に 楽しみでもあります。~~幕末期、まだ見ぬ西洋文明との出会 いを求めて(ペリーの黒船に)大海原を漕ぎ出していったあの 男・松陰のごとく~



◆鳥取支部だより

支部長 藤谷 治男 (S43建築)

平成24年3月、鳥取県内に武蔵工業大学同窓生が何名いるのかを、本部より名簿をお借りして調査してみました。結果は県

内在住の方が30名弱でした。鳥取支部設立準備会を同級生の港紀一郎君(S43生機)と相談し、彼の経営している皆生温泉の皆生シーサイドホテルで8月15日に本部から吉田勝君(S43建築)をお迎えして行いました。急遽時期を設定したものですから居住の変更等あり、予定のある方など、返事は8割方ありました。当日は当時武蔵工業会の副理事長でした吉田君から卒業から数十年も経っており、学校の現状等、東京都市大学に移行した経過を資料を交えてお話をしていただき、昔の学生時代の話をしながら歓談したのが最初でした。

平成25年度は武蔵工業会中国四国地区代表の縫部勝彌君(S43土木)から支部長会の案内がありましたが、所用のため参加出来ませんでした。平成26年度は11月に広島で支部長会があり参加させていただき、他県の様子も少し理解出来るようになりました。平成27年度は5月に島根支部総会(松江)に港君と参加させていただき、鳥取県の設立総会の参考にさせていただきました。松下会長(当時)より助言をいただき、平成27年度の定期総会の一週間後の6月27日に皆生で設立総会を開催するべく案内文の作成等、本部事務室の方々には大変お世話になりました。

旧武蔵工業会は48名、旧美砂会は11名、東京都市大学卒業生は2名の少人数の支部ですが頑張るぞ。本部から松下正勝前会長(S40土木)、新美砂会から小林菊恵会長(S33家政)中国四国地区代表・広島支部長 山田正一氏(S44土木)、島根支部長 今崎一治氏(S43経営)と事務局 佐藤公紀氏(S50機械)、高塚恵子さん(S49家政)の参加もあり、松村博先輩(S20土木)の参加もいただき、規約・役員などが決定し、当時の部活、学生時代の話に会は盛り上がりを見せ、校歌を聴きながら、宴は盛大に進みました。

校旗の前で記念写真を撮り、平成28年度は中部の三朝温泉・ 三徳山辺りで総会を予定しています。



◆島根支部だより

事務局 佐藤 公紀(S50機械)

平成25年度に武蔵工業会島根支部が設立されて3年目で、名称が東京都市大学校友会に変更された平成27年度島根支部総会は5月23日(土)に松江テルサで開催されました。松下正勝会長、松村慶一常任幹事支部委員長、縫部勝彌中国四国地区代表(S43土木)の来賓と本年設立予定の鳥取支部から藤谷治男支部長、港紀一郎副支部長の2名も参加いただきました。旧武蔵工業会と旧美砂会との合同では初めての総会になりましたが、旧美砂会の方から返信はありましたがご都合がつかなかったようです。旧武蔵工業会から参加者は6名でした。3名の来賓と2名の鳥取支部からの参加でやっと二桁が維持できました。

議題では参加者の増加案について、鳥取支部や広島支部との 合同開催などの案がありました。旧美砂会からも本部からお声 を掛けていただくようお願いしています。会議終了後懇親の場 を持ち、和やかな歓談ができました。翌日にはグリーンパーク 大山で懇親ゴルフコンペを行いました。

今崎支部長(S44経営)が中・四国支部長会議、広島支部(6月13日)や岡山支部(10月4日)の総会に招待され、他支部との交流を深めていく話題が出たようです。

また、鳥取支部が6月27日に設立され、総会に招待を受け、 今崎会長、小塩監査役(S51土木)、事務局の佐藤の3名で出席 しました。今後鳥取支部との交流を総会、ゴルフコンペなどで 深めていきたいと考えています。

島根支部として今年初めて本部主催の全国支部長会議や定期総会に出席しました。他支部の方との交流を深めたほか、今年国宝になった松江城、出雲大社、石見銀山や津和野など島根には観光地がたくさんありますので、観光PRもさせていただきました。



◆愛媛支部の近況報告

幹事 村松 繁(S50電気)

平成23年6月の愛媛支部結成から5年目を迎えました。恒例 となった5月の愛媛支部総会には毎年20名前後の校友会会員が 集い、活発な交流が続いております。

○平成27年度、愛媛支部活動報告

5月30日 愛媛支部親睦ゴルフ (チサンCC)

30日 愛媛支部総会(皆川広報委員長出席)

6月 6日 中四国支部長会(牧福支部長出席)

20日 校友会定期総会(仙波支部長出席)

7月 愛媛支部交流会

レクリエーション

徳島支部交流親睦会 (ゴルフ)

9月 他支部交流親睦会(ゴルフ)

12月 愛媛支部忘年会

2016年

3月 親睦ゴルフ

○平成28年度、愛媛支部活動予定

5月 愛媛支部親睦ゴルフ (チサンCC) 愛媛支部総会 (皆川常任幹事出席)

6月 中四国支部長会

校友会定期総会

7月 愛媛支部交流会

他支部交流親睦会(ゴルフ)

9月 他支部交流親睦会(ゴルフ)

12月 愛媛支部忘年会

愛媛支部は年1回の総会と随時役員会、ゴルフ部を中心に懇親会を主にした活動を行っています。また、会員各自の持ち回りの基調講演会を支部活動の大きな柱として継続しており、昨年5月の愛媛支部総会では「ダイヤアルミ㈱社長 金森 昭氏(S47経営)、梶田一善氏(H20機械)」より、海外に設立されたダイヤアルミ・ベトナムについての講演を行いました。



講演スタート直前の 金森社長

地方支部だより

現地のたくさんの写真を紹介しながらベトナムの国、日本の物価との違い、市民生活、海外でのエピソード、仕事の楽しさ難しさなど、金森氏より経営面からも非常に興味深いお話を伺うことができました。社会の中で果たすべき役割をはっきりと自覚し、その責任を果たし、アルミニウムのリサイクル特性を生かし、さらに環境にやさしいメーカーを目指されています。ダイヤアルミ(株)の益々のご発展を会員の一人として願っております。

また、平成28年度の基調講演会は工務店から税理士資格を取得し税理事務所を経営されている異色の人材!「掛川展生氏(S62建築)」を予定しています。

今後も愛媛支部の会員による講演会を定着させ、継続は力なりをモットーに、常に「新しい」をキーワードに前進したいと思っています。今後一層の東京都市大学校友会の発展を祈っております。







少数精鋭の腕自慢達

全体集合写真、充実感に 溢れた、にこやかな表情

講演中、真剣に聞き入っている

◆平成27年度 佐賀支部

幹事 森 孝信(S56機械)

さる10月24日(土)に第15回佐賀支部総会・懇親会と親睦 ゴルフが開催されました。

今年は「井上誠一」氏設計の佐賀でも名門コースである佐賀カントリー倶楽部で参加者4名ながらも和気藹々とゴルフを楽しむはずでしたが、来場者数が多すぎたのかスタートで30分遅れ、ハーフ終了時点で3時、その上食事休憩と言われ、このままプレイすると日没になると後半のプレイを断念するという最悪のゴルフでした。

その後、19:00より佐賀市内の創作料理「きぶん」において、校友会会長の吉田勝様、佐賀支部設立時からお世話になっております前九州・沖縄地区代表の鐘川邦次朗様(S45経営)を来賓にお迎えし佐賀支部総会・懇親会が開催されました。

初めに支部長の横山敬司氏(S54 経営)が挨拶を行い、来賓へのお礼と参加メンバーは少ないが15年目を迎えることができ感謝している、また来年こそは美砂会からの参加を期待したいと挨拶されました。続いて校友会会長の吉田勝様からご挨拶をいただき、校友会は今後何をやっていくか?同窓生と互いに活用し、地方支部・在校生への支援を行っていくと報告があり会員より拍手が沸いた。次に鐘川邦次朗様からご挨拶をいただき、鹿児島支部では男性9名に対して女性4名が出席されていたと紹介があり、我が支部も来年こそはと激励されたようでした。



事業報告、会計報告の後、美砂会の衣斐様にも参加者動員に協力いただいていると報告。議題として支部相互の交流を進めていこうということで、昨年実現できなかった台湾支部との交流も出たが、まずは鐘川様から紹介のあった鹿児島支部を皮切りに沖縄支部との交流の提案があった。懇親会に入ると、まだ発足したばかりだが美砂会会員の多い宮崎支部との交流も企画していいのではと夢は大きくなるばかりでした。

最後に、来賓の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、東京都市大学校友会の益々の発展を祈念いたします。

後列左から馬場(H10建築)藤井(S63機械)毛利(S38建築)田中(S52土木)森(S56機械)前列左から横山(S54経営)吉田会長(S43建築)鐘川(S45経営)

◆大分支部初めてのボウリング大会と総会・懇親会

支部長 安部 實(S40通信)

平成27年10月24日(土)支部総会・懇親会開催日に合わせて初めての試みとして、ボウリング大会を午後1時30分から行いました。ゲーム参加者は、佐藤匡輝(H13機械)、後藤憲二(S63建築)、野原誠(S51土木)、安部實(S40通信)の4名で3ゲーム行いました。いずれも数十年ぶりに重い玉を投げるのでコントロールがままならず、点数も100点をやっと超える惨めなものでした。しかしストライクがでると年甲斐も無く学生時代に戻ってはしゃぐなど、若いころの気分を満喫しました。次回はさらに輪を広げたボウリング大会にしようと考えています。



引き続き午後5時30分より総会・懇親会を大分センチュリーホテルで開催しました。大石尚志(S54機械)氏の初参加があって、支部会員12名(昨年より5名増)での総会となり、懇親会は、松村慶一校友会副会長、衣斐喜美子校友会常任幹事、東求九州沖縄地区代表兼熊本支部長をお招きして、計15名となりました。後藤謙治(H10土木)幹事の司会により松村副会長、衣斐常任幹事から挨拶をいただき、東熊本支部長による乾杯の発声で懇親会開始。しばらく歓談後、松村副会長によりプロジェクタを使った大学の近況報告が行われました。大学から遠く離れている支部会員にとって学生時代の大学を懐かしく思い出すとともに新しい大学を身近に感じた次第です。最後に校友会および大分支部の発展を祈念して野原誠(S51土木)副支部長による万歳三唱で御開きとなりました。



◆宮崎支部発足準備懇親会開催のお知らせ

発足人代表 上野 俊興 (S43建築) 寺田 康 (S37家政) 福田みどり (S43英文)

これまで休会となっておりました宮崎支部をいよいよ立ち上げるべく今年度、発足準備懇親会を開催する運びとなりました。日時が決まりましたら宮崎県内在住の方には案内状を発送いたしますのでご友人をお誘い合わせのうえご参加いただきますようお願いいたします。また県外の方でも参加できますので校友会事務局(koyukai@tcu.ac.jp 03-3703-3862)までお問い合わせください。

◆沖縄支部だより

支部長 翁長 武行(S33建築)

支部活動が盛り上がりません。組織の組み替えが出来て、新世代の会員とも親しく交流したいが、東京と沖縄では距離があり過ぎる。本部事務方は条件のそろっている環境で事の子細を処理出来るが、沖縄は日本国であっても離れ島です。若い会員方の所在が不明、この四年間で実質何人増になったか、新卒会員が何人ぐらい県内に住んで居るか、職業はどこで何をしているか不明であったりする。

平成19年までは毎年夏場に「大学と父母との連絡会」が開催され、現役在校生、同御父兄様方々と交流する機会があった強

みもあって、支部会会合等に集まれる機会はあった。しかし、 平成21年を最後に開催されていない。また、個人情報保護法 が施行されてからは、支部会員の名簿も扱い難くなった。会員 の身分、在所等に関わる秘密保持が優先的に扱われて、遠隔地 では不自由している。校友会を活性化させたい。旧武蔵工大時 代、東横学園時代の会員は、年齢的なハンディーや社会的責任 も背負っている年齢層ばかりが残っていて、校友会活動も積極 性を感じません。何か知恵を?

支部会の活動に向けて、平成28年2月頃を目処に、何らかの形を整えられると思います。

校友会の主になる会員は、昭和30年代の卒業生が主で、多くは現役を退役しておられる。琉球政府時代は先輩方に役付きの方々も数名、琉球政府や那覇市役所始め、部長級まで勤められたり、結構ムサコウ勢も元気に活躍されていたし、地元大手、沖縄電力、琉球石油、等沖縄をリードしていた企業にあっても武蔵工大卒業生が活躍しておられた。世代は先輩方のおかげ様で誇らしさも味わえた。先輩方が現役を去られ、沖縄も日本国の一県に世代わりし社会事情の変化が生じて大学を卒業しても地元へ帰省する若者が減少し始めた事情を含め在住同窓生が毎年少なくなって来た原因があるし、新入生も年々減っているようで、今日の東京都市大への合流が世相を加味している要因のような変化も多分に影響はありそうだ。

◆横浜市役所支部

会長 内海 貴志(S55土木)

横浜市役所支部は、昭和37年に創設され、平成27年に創立53年を迎えました。現在の会員数は109名、賛助会員数は43名(平成27年11月現在)を数えます。

支部の主な活動として、毎年の総会・懇親会のほか、平成18年度から「入庁者確保プロジェクト」を行っています。入庁を希望する卒業生を支援し、職場訪問の受け入れや採用試験のアドバイスなどを行っています。また、係長以上の責任職への昇任支援プロジェクトを行っています。

歴代の会長をはじめとする諸先輩方に感謝するとともに、市 役所の様々な部署で活躍している会員がお互いに協力し合いな がら横浜市政を支えていけるよう、皆様のご協力をお願いいたします。



◆鹿島建設柏会支部

齊藤 誠(H25電気)

鹿島柏会支部は東京都市大学(旧:武蔵工業大学)を卒業し、鹿島建設・グループ会社に在籍する社員にて構成されております。現在会員が170名強であり、会員相互の親睦を深めることを目的として活動しております。

平成27年度は4月に支部総会兼新入社員歓迎会を鹿島建設本社にて開催致しました。毎年この会では、新入社員の方には入社後の抱負を、校友会・先生方より門出のお言葉をいただき、各会員の活躍や、近況、仕事への人生観など新入社員同士、先輩後輩相互の親睦の場となるように実施をしております。私自身、2年前に新入社員として先輩たちに囲まれ、歓迎を受けながら抱負を語ったのですが、もうその頃が懐かしく思えてしまい、自身の今と昔を振り返り、あのころの描いていた自分になれているかと自問自答してみたりと、原点に回帰できる良い機会かなと思う次第であります。

今後の活動としては平成29年卒業予定の学生の方々を対象に、建設業界・鹿島建設グループについての紹介、現場見学会等を開催し、建設業界、鹿島建設グループへの興味を持って頂くよう、活動を行う予定としております。

鹿島柏会支部という大学OBのネットワークは長い会社生活の中でも大切な繋がりをつくるきっかけの役割も果たしております。 仕事で躓いた時や、プライベートを含め、今後もこのつながりを広げていけるよう活動を行っていきたいと思っております。

最後に、東京都市大学校友会の益々のご発展と会員の皆さん のご健康と各分野でのご活躍を祈願しまして支部便りのご報告 とさせていただきます。



職場支部だより

◆富士電機柏会の近況

幹事 佐藤 圭輔 (H14エネ基)

富士電機柏会では富士電機グループ内での同窓生の懇親を通じて会員各位の業務の効率化に寄与しています。というのも、様々な部署の協力が必要な業務の中で、同窓生のちょっとした口利きやフォローが大いに役立っているからです。また会員の活躍は良い刺激、励みになり、仕事への意欲も掻き立てられています。

会員数も近年増えてきており、平成28年度も本学から数名が新入社員として入ってくる予定です。新入社員は期待と共に不安があるものですが、そこで同窓生の先輩方が励まし、時には助けてくれることで、いち早く仕事に馴染むことができていると思います。私個人も入社から、10年以上経った現在でも諸先輩方に大変お世話になっているところです。この伝統を後輩にも引き継ごうと、現在は柏会のイベントでの懇親だけでなく、日々のちょっとした声掛けなどをするよう心掛けています。

最後に富士電機柏会の今後の予定を記し、本会の近況報告と させて頂きます。

4月:新人歓迎会 2月:総会・懇親会

◆セイコーエプソン尾山台倶楽部支部だより

前支部長 古幡 整(S55機械)

平成27年度総会報告および平成28年度予定

セイコーエプソン尾山台倶楽部支部では、平成27年度まで支部長であった、私古幡整(S55機械)から、小松克光氏(S55電気)に支部長を、薄井和夫氏(S58年機械)に副支部長をお願いする承認の機会も兼ねて、平成27年度総会を9月12日土曜日に塩尻市のホテル中村屋にて開催いたしました。

当日は参加者総勢13名という少々てじんまりした総会でしたが、東京から愛車のハーレーダビットソンに乗り駆けつけてくれた、西野正之氏(S58経営)のユニークな写真撮影の影響か非常に盛り上がった総会となりました。

式次第は

- ①尾山台倶楽部設立の由来
- ②尾山台倶楽部の現状報告
- (同窓会としての新規メンバー勧誘状況等)
- ③平成27年度まで執行部体制
- ④今後の執行部体制
- 新旧支部長挨拶
- ⑤母校東京都市大学の近況と概要報告
- ⑥長野県支部の状況報告
- ⑦会員の自己紹介および近況報告

が行われました。

特に自己紹介および現状報告は極めて興味深い内容の報告で大変盛り上がりました。同窓生の社内での大活躍を知ると共に、同窓生としてそれを分かち合う事が出来非常に良い集いができたとの思いを全員で共有する事ができました。その思いを胸に、最後の校歌斉唱のフィナーレをむかえました。



この結果を踏まえて、平成28年度は総会およびそれとは別の 親睦を深める意味での活動を実施する予定となりました。(ゴ ルフ、キャンプ、あるいは懇親会を計画する予定。)

盛況に終わった和気藹々とした雰囲気を来年度以降も味わい たい思いで新執行部にバトンタッチがされました。

◆五洋柏会の発足と活動について

幹事 谷口 修(H8土木)

五洋柏会(支部長:松尾史朗、S57土木)は、五洋建設株式会社に所属する社員を対象として平成25年に発足した校友会で最も新しい職場支部です。会員は平成27年度現在32名で、国内各地はもとよりミャンマー、タイ、シンガポールの海外にも在籍し活躍しています。

平成27年度の総会・懇親会は、松下前校友会会長(五洋建設元副社長)や退職されたOBの方を交え、10月17日(土)に開催いたしました。出席された方それぞれに近況を報告していただき、水野組時代入社(五洋建設の旧社名)の大先輩から平成28年度入社予定のフレッシュな若手まで世代を超えた交流を図ることができました。

今後は、会員間の交流・親睦を図る為、定期的に支部総会・ 懇親会を開催する予定です。



◆千葉県庁武葉会について

幹事 中町 源徳 (H7土木)

千葉県庁武葉会は、武蔵工業大学・東京都市大学出身の千葉県職員が会員となっている支部です。現在、会員として20名ほどが名簿に名を連ねております(実際はもっといると思われますが、把握しているだけの人数になります)。

私が平成7年に入庁した際には、もちろん名簿の一番下に名前があり、当時は50名近い名前が記載されている名簿を頂いておりましたが、千葉県の採用数減等の影響もあり、新規採用職員の名前はさほど増えず、定年退職された方の名がO.B.名簿へ、という状態でした。

しかしながら、近年、千葉県でも社会人採用の動きがあり、会員が増加しました。民間企業の経験を持たれている方の話は懇親会の場で大変興味深く、新たな会員が増えるのが楽しみ、という状態です。(懇親会の様子は、校友会のホームページに掲載されております。)

未だ名簿の下の方に名前が載っている私ですが、40歳をとうに越え、私より上の方はそれなりの役職に就いております。それでも、言いたいことを言い合えるような人間関係が築けているのが千葉県庁武葉会です。

平成27年度は既に情報交換会(懇親会)を2回実施しており、1月27日には千葉支部と共同での研修会を実施しました。平成28年度は2月頃に総会の開催を例年と同様に予定しており、加えて、情報交換会を適宜開催する予定です。

■機械工学科

主任教授 眞保 良吉

まえがき

卒業生の皆様方には益々で健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。以下に、平成27年度の機械工学科の近況をご報告させていただきます。

卒業と就職状況

昨年3月に機械工学科を115名が卒業し、その内32名が大学院修士課程(内、他大学大学院5名)に進学し、79名が就職、その他が4名でした。皆様方の大きなご支援を持ちまして、就職希望の学部生は就職率95.1%を、また大学院では、32名の修士修了生について就職率100%を達成しました。

新入生

昨年の入学試験は、受験生人口が減少する中、工学系人気に支えられて志願者数は順調に推移し、最終的に126名が、また大学院機械工学専攻修士課程には28名が入学しました。また昨年の学部入学生から対象となるTAP(2年後期でのオーストラリア留学)に17名が登録を行っています。

その他

昨年のフレッシャーズキャンプでは、従来の工場等の見学に替え、新入生にパスタタワー製作(スパゲッティの乾麺で塔を作る)を行わせ、創意工夫の面白さを体験させました。このように学科教員一同、教育・研究の改善に努めております。卒業生の皆様には、これまでと同様で支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■機械システム工学科

主任教授 田中 康寛

平成27年3月に第15期生84名、機械システム工学専攻修士30名と博士1名がそれぞれ卒業、修了し、4月には学部新入生108名、大学院新入生27名を迎え、設立19年目がスタートしました。4月には新入生の歓迎行事であるフレッシャーズキャンプが湯河原温泉で開催され、教職員との親睦が図られました。また4月からは、助教としてすでに教鞭をとっていた関口和真氏が講師として高機能機械制御研究室に着任されました。

10月31日(土)には、恒例となりました、第8回 MESSAGE (Mechanical Systems Symposium by all Ages)が、学園祭に合わせて開催されました。今回は、若手の卒業生6名にパネリストをお願いし、卒業生からのアンケート結果を基にパネルディスカッションを実施しました。現役学生にとっては、様々な視点から学習の意義を認識するとともに、就職へのモチベーションを高めるきっかけになりました。皆様のご協力を感謝します。なお詳細は大学ホームページの"トピックス詳細"をご覧ください。



■機親会

会長 松村 慶一(S49機械)

平成27年度機親会理事評議委員会にて、第13期会長に選任されました。機親会は現在15384名(住所判明者)で構成しています。

平成27年度は、大上浩教授 (S56) が工学部長に選任され、八郷隆弘様 (S57) が本田技研工業(株) の代表取締役社長に就任されました。機械系学科が育んだこれまでの成果と思い皆様とお祝いしたいと存じます。



学外活動の支援 (Mi-Tech Racing)

機親会はこれまでの取組を継続して、①新入生を対象にした機械工学科および機械システム工学科フレッシャーズキャンプ②1年生を対象にした工学基礎セミナーに卒業生有志を講師として派遣し、エンジニアとしてのアイデンティティの確立を助成③OB企業のものづくり工場などの見学支援 ④機械システム工学科卒業生と現役学生とによる企業での学業、専門性のパネルディスカッション交流会(Message)支援などを実施してきました。これからも現役学生とOBとの交流、現役学生への啓蒙に取り組みます。武蔵工業大学からのDNAを育み、新たなグローバルな社会人を育むための支援を進めます。

平成28年度では、これまでの活動のほか、学生の学外活動を積極的に支援し、機械工学の魅力を、ものづくりの魅力を、そして東京都市大学の魅力をアッピールしていく計画です。平成28年度の入学式(平成28年4月2日(土))には本田技研工業㈱八郷社長をお迎えし、ご挨拶を頂くとともに、座談会、機親会主催の懇談会を計画しています。皆様の積極的な参加を期待します。

社会でご活躍のOB各位からの現役学生への講師としての自薦・他薦を、また製造会社の工場見学などの推薦をお願いします。

(株)武蔵工業会館

東京都市大学 校友会の会員が設立。 会員が利用できる会議室とラウンジが あり、校友会や学科・クラブのOB会等 の会議や懇親会に利用されています。 自由が丘駅からバス通りを田園調布駅 方向へ歩いて7分の場所です。

校友会会員及び父母の株主:806名 代表取締役:光井英雄(S32電気) URL:http://kashiwa-club.jp/

e-mail: mitkaikan@kiu.biglobe.ne.jp 電話: 03-3721-1052 (平日13~17時)

柏三水会

入会を募集、歓迎しています。

企業の経営に携わる方達の親交の場です。東京都市大学に関係する全ての方を歓迎します。

企業発展のための知識や情報の交換、さらに会員同志の憩いの場として月一の会合 (第三水曜日) で盛り上がっています。また校友会や他の親睦会と一緒に行動して相互の親睦、母校や校友会への貢献を進めています。

会員:50名 会長:山田眞久(S44機械) 問合せ先:電話03-3721-1052(事務局 大澤)

柏門技術士会

東京都市大学(旧武蔵工業大学)卒業生の技術士などにより設立。会員相互の交流と研鑽に併せて本学の教育・研究への協力、支援、発展に寄与し、母校の発展や社会への貢献を目的とします。電気電子、機械、建設、上下水道、衛生工学、情報工学などの部門の技術士や修習技術者がいます。

会員:371名

会長:小林洋一(S48電気)

URL: http://www.tokyotosi-hakumon.org

■原子力安全工学科

主任教授 横堀 誠一

原子力安全工学科は学科が開設されてこの4月で満8年、 準備期間を含めれば早くも10年になります。この間に福島 の事故がありました。それからでも5年になります。

社会的にも発電所の再稼働が動きつつある昨今ですが、学科としては今後の我が国のエネルギー問題を考えながら安全な原子力発電を学び、解決しなければならないところは研究を進めています。

トピックスとしては順調な就職を背景に、研究と教育では発電所の廃止措置(廃炉とよく言われます)の勉強を講義の中で開始しました。どんな時代になろうともエネルギーの一角を占める原子力の需要はあると確信します。安全のマインドをもった技術者を送り出していきます。

学生の団体である「閃源会」が平成27年度も目を見張る活動を進め、9月には15人の学生が台湾の発電所4基を見学してきました。現地台湾の学生との英語の討論では鍛えられたと全員が印象に残ったようです(写真)。これからも皆さまの厳しくも暖かいご支援をお願いします。



■医用工学科

主任教授 森 晃

生体医工学科は生体・医療と電気・電子工学および機械工学の複合領域、境界領域を学ぶ学科として平成19年4月に開設されました。教育内容は医学、電気・電子工学および機械工学の3つの柱で構成され、電気・電子系学科および機械系学科との間で共通に受講可能な科目を設けるなどの工夫により学生に対して幅広い教育を行っております。2013年に生体医工学科を医用工学科と改称し、より受験生に理解しやすくなったため受験者も増加しております。医用工学科は、臨床計測器械工学(森、和多田)、生体計測工学(島谷、京相)、知覚システム工学(桐生、平田)、生体認知工学(仁木、桃沢)の4つの研究室からなり、4つの研究部門が互いに連携しながらヒトの健康に役立つ教育と研究を行ってきています。

2年、3年生では、ラット、ヤギなどを使用し、実際の医療機器を使用しながら勉学する実物教育があります。このような実物学習は、装置の原理や使用法を学ぶ座学では難しく、実際の現場での経験は今後の教育改善と研究に生かせ

る最高の場となっております。これからも、医用工学科は将来の医療機器の開発に関する研究者を育て、多方面に活躍できる人材育成に取り組んでおります。



2号館4階 手術室

■原子力友の会

さらなる学生支援のために: 教職員との連携も充実 羽倉 尚人(H17エネルギー基礎)

- ■2015年4月4日、都市大原研 (王禅寺キャンパス) にて花見会を開催した。これまで研究室単位で行われていた春の恒例行事を、今回からは原子力友の会として主催し、開催することとなった。満開の桜の木の下で卒業生と教職員が思い出話に花を咲かせた。この日たまたま原研の視察に来られていた三木学長にも同席いただき、交流を深めることができた。
- ■2015年6月6日、世田谷キャンパスにて定例の総会を開催した。卒業生、現役の学生、教職員合わせて19名の参加があり、都市大の近況紹介や活動計画についての議論があった。 海外でのボランティア活動や学外研修会などを積極的に企画し実行している学生への支援についても話し合われた。ま

た、総会に合わせて行われた講演会では、本会の本多会長に「放射線測定、シンチレータと共に40年」と題してお話ししていただいた。



■年度末の卒論発

表会で優れた発表をした学生に対して、学位授与式の際に「友の会賞」を贈っている。本会の活動の詳細は、ホームページに掲載している。ぜひご覧ください。

(http://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/tomo/index.html)

メールアドレスの登録を!!

校友会では行事等をお知らせするサービス提供や情報発信に電子メールの活用を進めていきたいと考えています。つきましては、ぜひ皆様が現在お使いの電子メールアドレスの登録をお願いいたします。 <登録方法>

下記のURLにアクセスし、住所、 氏名、卒業年、学科、会員番号(会 報在中封筒のお名前の右下の番 号)、メールアドレスを入力して登 録してください。



スマートフォン、携帯電話からはQRコードをご 利用ください。

URL: https://www.tcu-alumni.jp/ssl/htdocs/メールアドレスをお持ちでない方にはFAX番号を登録いただき、FAXで同様のサービスを受けることができるようにいたしますので備考欄に"FAXでの案内希望"とご記入の上登録してください。

登録いただいたメールアドレス等の個人情報は校 友会活動以外の目的には利用いたしません。また、 情報の管理には細心の注意を払ってまいります。

お問い合わせは校友会事務局 (koyukai@tcu. ac.jp, 03-3703-3862) までお願いいたします。

■電気電子工学科

主任教授 野平 博司

4月に多くの新入生を迎え、例年通りフレシャーズキャンプ (新入生、補助の上級生およびクラス担任などの教員が1泊2日(鴨川ホテル三日月に宿泊)で参加、教務ガイダンス、スポーツ大会、グループ討議、飯盒炊爨などを行う)で新学期がスタートしました。新入生が、見知らぬ他人から友達を作ったり、教員や上級生との面識をつくることが狙いの行事で、初めての大学生活を円滑にスタートするのに大変効果的です。なお、2日目のマザー牧場での飯盒炊爨と散策は、なんと雪の舞う中で行うことになりました。

平成26年度以降の教職員の入れ替わりは、ご退職が、平成27年3月末に湯本雅恵教授、小野茂教授、矢野史子教育講師です。一方、平成27年度に太田豊准教授、髙藤裕教育講師が着任されました。また、総合研究所に着任された小長井誠教授(専門は太陽電池分野)に本学科の兼担者になっていただきました。さらに、平成28年度からは、発展が期待されているスマートグリッドなどの電力分野が専門の教授が着任される予定で、当学科の魅力の向上を目指して改革を行っております。最後に、平成27年度の就職状況は、企業から即戦力として期待されている大学院修了者は全員内定しましたが、残念ながら学部卒は未だ全員ではありません(1月末時点)。次年度以降は学部卒も含めて100%を目指して教職員一同学生指導を工夫して行きます。

■エネルギー化学科

主任教授 高橋 政志

エネルギー化学科では昨年3月に63名の卒業生を送り出し、4月には71名の新入生を迎えました。新入生には女子が18名含まれ、例年よりも華やいだ学年となりました。この女子比率(25%)は1997年の学科設立以来最も高い値であり、化学系の学科として少しずつ認知されていることの表れかもしれません。フレッシャーズキャンプは前年と同じく千葉県勝浦のホテルに宿泊し、1日目はバレーボール大会、2日目は新日鐵住金君津製鉄所で圧延工程の見学を行いました。これら一連のプログラムによって学生間および学生と教員間の親睦が急速に深まったと思います。

教員には平成27年度に大きな異動はありませんでしたが、エネルギー化学専攻では吉田明先生(S48電気)が昨年3月に退職され、名誉教授になられています。吉田先生には機器分析で指導を受けた方も多いのではないでしょうか。

本学科では今後も引き続き教育力の向上に努め、カリキュラムの見直しを進めてまいります。卒業生の皆さまには、学

科の教育研究 活動にご協力、 そして様々なご 点からのまりまい 見を賜ります してます。 上げます。



■電友会報告

会長 石田 弥(S45電気)

私は平成27年4月の総会で会長に任命頂きました。藤川先生(S40電気)の後任であり、学内の実情に疎い私はプレッシャーを感じておりますが微力を尽くす所存です。皆様には是非ご支援ご協力下さいます様お願い致します。

さて、平成27年のうれしいニュースとして、会員の湯本先生(S47電気)が副学長に就任されました。キャンパスにお出かけの時は是非先生に祝福と激励のお声をお掛けして下さい。先生のご活躍を皆さんと共に祈念いたします。

また活動報告及び決定している予定に関しては次の通りです、宜しくお願い致します。

<平成27年の報告>

- 1、平成27年4月18日 総会:前三期分の決算及び事業 計画並びに電友会新役員、校友会新幹事が承認され た。
- 2、平成27年11月9日 常任幹事会:①新規事業で学生の 国家資格取得支援を実施する事とし、尾崎常任幹事 (S54電気)を中心に支援の内容をまとめる。 ②総 会や幹事会で学内見学会を開催する。

<平成28年の予定>

- 1、平成28年1月29日 常任幹事会開催:
 - ・学生の国家資格取得支援について検討
- 2、平成28年4月16日 幹事会開催:
 - ・ 電友会賞、学科支援や事業計画の承認

■源友会の組織づくり着手

会長 佐藤 圭輔 (H14エネ基)

源友会は現在のエネルギー化学科の同窓会であり、校 友会の中では新しい同窓会に分類されます。私は今年度 より本会の会長を務めさせて頂いております。

エネルギー化学科はエネルギー基礎工学科の名称で1997年(平成19年)に設立されたのが始まりで、名称を環境エネルギー工学科(2003年)、エネルギー化学科(2008年)へと変遷し、現在に至ります。その中で当会の特徴は会員全員がまだ現役の会社員である点です。同窓会の目的は大学の発展であり、そのためには現役学生への支援の他、卒業生(会員)の社会での活躍も必要不可欠です。そこで本会を通じて会員の皆様には実業務に活かせるような懇親の場を作りたいと考えています。

現在は組織づくりの段階で、会則原案作成、役員候補の選定を進めています。より有意義な同窓会にするためには、先ずは多くの方々の参加が必要です。そこで会員の皆様が常に関心を持って頂けるような身近な場を提供したいと思っております。そのためにも役員を年代毎に設けることで、どの年代からでも声掛けができ、気軽に集まれる会にしたいと考えています。会員の皆様には今後とも多々で協力頂けますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

■建築学科

主任教授 勝又 英明(S55建築)

建築学科は学部生488名(内女性134名)、大学院生68名(内女性14名)が在籍しており、27%が女性です。(平成28年2月時点)世田谷キャンパスの中では女性比率が最も高い学科です。教員は専任教員15名、教育職員(技術員)2名の体制で推移しております。人事としましては平成27年4月から建築学科の事務職員が黒木留美子さんから宇野直子さんに替わりました。黒木さんは学内の地域連携センターへ異動となりました。教員の人事としては平成28年3月をもちまして教授の濱本卓司先生がご定年になります。

平成27年8月1日から6日には如学会の全面協力で、学部2年生向けの特別講義(1)(建築の実務) 通称「如学会寄付講座」を開講いたしました。建築学科のOB・OG18名により16講義行われ約70人の学生が受講しました。最終日には講師と学生の懇親会も開催され交流が深まったと思います。

企業の採用選考については採用選考のスケジュールが大幅に後ろ倒しになり多少混乱しましたが、オリンピック景気もあり、就職先就職率とも良好でした。既に平成28年度の就職活動もスタートしており、平成27年11月25日には如学会主催の「進路支援プログラム/進路ガイダンス」も開催されました。

建築学科の活動につきましては、東京都市大学WebSite内にあります、建築学科HPをご覧ください。また、年に2回発行の如学会Newsの中でも、毎号「建築学科の近況」により建築学科の活動を報告しております。

残念なお知らせとしましては、平成27年4月に名誉教授望 月重先生が逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

■如学会

会長 山岡 嘉彌(S46建築)

私は平成27年度の定期総会において再選され、11代目 如学会会長の2期目として、向う3年間務めることとなり ました。如学会の新体制を支える会員・スタッフ共々よ ろしくお願い申し上げます。今年度の主な活動報告は以下の通りです。校友会の共催行事として、校友会の皆様 にも積極的なご参加をいただき交流と親睦を深めることができました。

- 1) 「定期総会・講演会・懇親会」2015年6月6日(土) 開催(渋 谷エクセルホテル東急)参加者合計91名。三木千壽新学 長によるご講演。(平成28年度:2016年6月4日開催予定)
- 2)「金沢・都市建築視察ツアー」2015年3月14日-15日(1 泊2日)開催 校友会、柏三水会の方々と共に、35名が 参加、現地で校友会金沢支部の方々20名と合流し、懇 親会を行ないました。今年の3月「函館ツアー」を実施 予定です。
- 3)「進路支援プログラム/進路ガイダンス」2015年11月 25日開催 今年度から校友会による主な学生支援活動 として如学会も協力していくことになりました。
- 4)「建築100人展2015・大学展/美術館展」 大学展開催後、10周年記念展として、「上野の森美術館」 にて美術館展(2015年12月16日-24日)を開催しました。 校友会、柏三水会の方々など多くの同窓生や一般の方々 が鑑賞に訪れ、懇親を深めることができました。
- 5)「夏期特別講義」(10周年·2015年8月1日~6日) 開催。

■都市工学科

主任教授 丸山 收(S58土木)

平成26度末に、地盤環境の片田先生(S50土木)が定年退職され、名誉教授となられました。平成27年度には、地盤環境に伊藤和也先生(H10土木)、計画・マネジメントに今井龍一先生が赴任されました。教育・研究および学科運営に活躍されることを期待しております。また大変残念なことでありますが、平成27年末に西脇威夫名誉教授がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

都市工学科の入試状況、卒業生の就職状況に関しましては、市民生活、経済活動の根幹である社会基盤施設の 重要性に対する認識が高まっていることもあり、好調に 推移しています。

学科としては、第一に、本学唯一のJABEE認定プログラムとして、教育の質保証に関する改善活動を継続して実施しております。

さらに、国際的に活躍できる技術者育成のための取り 組みを始めました。具体的には、大学の支援によりジャ カルタ地下鉄現場研修および現地大学との交流イベント、 タイ国タマサート大学を訪問しての研究交流セミナー、 本学が推進している東京都市大学オーストラリアプログ ラム(TAP)への参加などです。

また、平成28年4月から、大学院都市工学専攻内に、社会人対象の「社会基盤マネジメント」修士・博士コースを開設し、広く学びの場を提供していきます。

■緑土会総会報告

総務 丸山 收(S58土木)

平成27年度の緑土会総会・懇親会が、去る平成27年11月13日(金)に私学会館・アルカディア市ヶ谷において開催されました。総会は、草柳俊二会長(S42土木)を議長に選出した後、H26年度経過報告、会計報告および下記のH27年度新幹事の議案が承認されました。総会後の懇親会では、ご来賓として、川井重勇東京都議会議長(S46土木)、吉田勝校友会会長(S43建築)から、ご挨拶をいただき、最年長参加者である小玉克已名誉教授(S31土木)による乾杯の後、旧交を温める機会を持ちました。

大学支援および緑土会会員の一層の交流を図るために、代表幹事会・活性化部会が活動を始めました。緑土会ホームページ等を活用して情報発信していく予定です。また、平成28年4月から、本学大学院工学研究科都市工学専攻に、社会人対象「社会基盤マネジメントプログラム」を開講します。社会人修士・博士課程を設置しておりますので、ご興味のある方は、お問い合わせください。

平成27年度 新幹事

鈴木直人(大学院修士課程在籍中 地盤環境工学研究室) 渡邉和貴(大学院修士課程在籍中 災害軽減工学研究室) 池田香澄(大学院修士課程在籍中 水圏環境工学研究室)

平成28年度の総会は下記の要項で実施します。

日 時:平成28年11月12日(土)午後

場 所:東京都市大学 世田谷キャンパス メモリアルホールA

詳細は後日、ご連絡します。皆さんお誘の上、ご参加ください。

■情報科学科

主任教授 宮内 新

平成27年度は100名の新入生が入学してきました。平成27年12月1日現在、1年生99(18)名、2年生111(13)名、3年生116(15)名、4年生101(9)名となり(括弧内は女子学生数内数)、総数は427名になります。年度を追って女子学生数も順調に増加していることがわかります。

平成27年3月末日をもって、野原教授がご定年を迎えられ、4月からは名誉教授にご就任されました。一方、平成27年10月より教育講師として齋藤友彦先生が着任されました。齋藤先生のご着任でより密な教育が実施でき、学生諸君の実力が向上するものと確信しております。また、平成27年4月より、田口亮教授が知識工学部長に就任されました。3代目知識工学部長としての一層のご活躍を期待するところです。平成28年度からは大学全体の国際化重視の方針に従い本学科入学生もTAPに参加できることになりました。

就職状況は以前に比べて大幅に改善されたものの、企業の選抜基準は厳しく、就職活動に苦労している学生もおります。平成27年度からの就職協定の変更、28年度の更なる変更により、就職活動期間が実質上大幅に伸び、全く予断を許さない状況にあります。

本学科は今後も、教育の質をさらに向上すべく努力いた します。合格者の偏差値や卒業生の就職内定率を維持、向 上させていくために、今まで以上のご支援をお願い致しま す。

■情報通信工学科

主任教授 佐和橋衛

情報通信工学科では、学科の定員を55名から60名に増員した2年目の平成27年度は、70名の学生が入学しました。平成27年度の女子学生は、3年生が6名、2年生が9名、1年生は6名で、女子学生の比率が高くなっている傾向が継続しています。第2回の「通友会賞」は、関口高穂君、間山京将君(無線システム・岡野研究室)、福井隆太君(コンピュータネットワーク・宇谷研究室)が、学外活動で本学の知名度を高める優秀な業績を上げた貢献により受賞しました。また、平成27年3月に卒業した本学科の4年生は、大学院への進学者の比率は約20%であり、就職は引き続き高い就職率を実現しています。

平成27年4月より、柴田随道教授が本学科に赴任され、平成27年度は専任教員9名、技術員2名の11名の体制で、学生の指導を行っています。また、平成17年度より本学に着任され、本学科の運営に多大なご貢献をされてきました堀田正生教授が平成28年3月でご退職されます。今後も引き続き本学科は、産業界、社会の要請に応える技術者を育成すべく教

育・研究に着実 な発展を目指し ていきますので、 ご支援、ご協力 を賜りますようよ ろしくお願い申 し上げます。



表紙解説

解説 勝又 英明 (S55建築)

今号の表紙は、同窓会誌ということで、「同窓」にひっかけ、世田谷キャンパスの新旧の「窓」のコレクションをお届けします。

世田谷キャンパスは、長年かけて形成されたキャンパスであるため、その時代によりいろいるなデザインの建築が建てられ、いろいろな窓があります。

左上:10号館を東側の駐車場から撮影したもので、それぞれの窓に日常の研究生活がうかがえます。

右上:4号館の屋上庭園から撮影したもので、建物としては3、4階になります。横連窓とガラスプロックが調和しています。

右下:卒業式、学位授与式が行われる14号館 (学食、体育館)の北東の階段の窓です。影がき れいです。

左下:世田谷キヤンパスの最も新しい建物である新1号館の窓です。

これらの窓の中では、東京都市大学としての研究教育が行われており、明日の同窓生が育てられている窓です。

■通友会

総務 秋谷 昌宏(S46通信)

総会・講演会・懇親会報告

平成27年度の通友会総会・講演会は、平成27年5月30日 (土) に、母校13P教室において開催されました。総会では前 年度、本年度の活動報告・計画並びに決算・予算、役員・各期 幹事選出が審議、承認されました。又、通友会賞の本年度受 賞者3名が紹介された後に、大島会長(S40通信)と佐藤光司 監事(S38通信)がご自宅を訪問されて、現在も益々お元気 な"田中兼義"先生(S16電気)の近況がビデオで紹介されま した。引き続き平成26年に瑞宝中綬章を受賞された元防衛 庁技術研究本部 加藤 亨様(S40通信)による「世界の中の日 本の通信技術」が講演されました。懇親会は学内のラウンジ オークで、大島弘之会長、ご来賓の吉田 勝校友会会長並び に石田 彌電友会会長の挨拶で始まり、途中、宮内 新、山 本尚生元知識工学部長並びに田口 亮知識工学部長それに 情報通信工学科では佐和橋 衛主任教授及び柴田随道教授 にもご挨拶をいただき、名残を惜しみつつお開きとなりまし た。本年の**通友会総会は5月21日(土)午後**に、母校で開催し ます。

■経営システム工学科

主任教授 横山真一郎(S51経営) 「経営システム工学科」の近況

経営システム工学科の学生は、起業に興味をもって企 業研究を行ったり、積極的に海外インターンシップに参 加したりして活動的な気がいたします。学科では、その ような学生の学習意欲や履修状況も参考にして常にカリ キュラムを検討して、マネジメント力を持った工学技術 者の教育を目指しています。各教員は学外にも目を向け て社会貢献や研究活動を行っています。

人事関係では、平成27年度から、日立製作所に勤務さ れていた岡田公治先生が経営管理学科目の准教授として 赴任されました。企業での経験が学生の教育や研究指導 に役立つことを期待しています。現在、「特別講義:グ ローバル社会での経営」を担当されている松崎吉衛特任 教授とは面識があったようです。さらに、セコム株式会 社顧問の原口兼正先生(S49通信)には引続き客員教授を お引受け頂いています。また、宇野直子さんに代わり知 識工学部学科事務には石黒麻矢さんが就任されました。 他にも客員教授や多くの非常勤講師の方々のご協力を頂 いています。

最後に、矢崎会長をはじめ経友会の皆様には日頃お世 話になっており、感謝申し上げます。経友会のご発展と 卒業生の皆様方のますますのご活躍をお祈りするととも に、変わらないご支援とご協力をお願い申し上げます。

■自然科学科

主任教授 飯島 正徳

平成27年は、自然科学科3期生26名(男20名、女6名)が 卒業し、7期生32名(男23名、女9名)が入学しました。学 科の専任教員に変更はありませんが、主任を交替しました。

4月のフレッシャーズキャンプは、例年通りマザー牧場 で行いましたが雹に見舞われたため、屋内で羊ショーを見 て早めの帰路につきました。5月にはスコットランドで12 日間の「野外調査法及び実習(2)」が行われ、鈴木、萩谷 先生引率のもと3年生10名が参加しました。6月には、本学 科の学生5名がキッコーマン飲料㈱と共同開発した新商品 「花つぼみ」の発表会が、二子玉川に新しくオープンした "夢キャンパス"で行われました。その他、学科オリジナ ルサイト (http://www.sci.tcu.ac.jp/) をオープンしました。 また、動物園や水族館等の学科の特徴を活かした就職も増 えて参りました。就職関係では本学OBに大変お世話にな り、改めて80年を超える本校の歴史の重みを感じました。 この場を借りて、厚く御礼申し上げます。自然科学科の卒 業生も、皆様の一員として、社会に貢献する日が来ること

を願っており ます。





「花つぼみ」発売発表会

■経友会

会長 矢﨑 克実 (S54経営)

経友会総会を東京都市大学世田谷祭のホームカミング デーに合わせて、平成27年11月1日(日)11時より1号館 4階オークにて、開催いたしました。

当日は、横山先生を中心に14期の同窓生多数の参加 いただきました。今後、経友会総会は、世田谷祭のホー ムカミングデーに開催いたします。是非、今年のスケ ジュールには予定を入れておいてください。

経友会活動は、卒業生の親睦、在校生への支援、在校 生と卒業生の絆を柱に、具体的活動としては、会員名簿 の充実(同窓会・クラス会開催時に名簿を提出での支援 金)、経工会活動への支援(新入生歓迎会を経工会と共 同開催)、特別講義「グローバル社会における経営」へ の協力。第4回までの講義をまとめた冊子が2015年8月20 日に発行されました。下記より閲覧できます。

http://www.goto-ikuei.ac.jp/53guidebook/2015/2015-0911-1305-14.html この特別講義は、平成28年度も予定されています。是 非、ご参加ください。詳細は、後日ご連絡いたします。

今後は、在校生と卒業生の絆を就職活動の支援を通じて深

めて行く場を 企画しており ます。皆様の ご支援・ご協 力をお願い申 し上げます。



■自然科学科同窓会さきがけ

副会長 岩井 桃香(H27自然科学)

平成27年3月、私たち自然科学科第三期生が卒業し、卒 業生は82名となりました。平成27年度、本学科同窓会は大 きな成長を遂げました。加藤広樹さん(H25自然科学)と吉 田和人さん(H25自然科学) によって、ホームページ (http:// sakigake.html.xdomain.jp/) が設置され、高橋伸行さん(H25 自然科学)によって会報「先駆け」が発行されました。ホー ムページでは活動報告を随時更新し、会報では卒業生によ り進学先または就職先での活躍を、先生方により学科の近 況報告等をして頂いております。平成27年11月に横浜で行 われた役員会議(写真)では、在学中に課外活動や学術活 動等において、顕著な活躍した学生に対し、「さきがけ賞」 を授与することを決定しました。本学科同窓会では、各分 野で活躍する卒業生の繋がりを広げ、深めていけるように 取り組んで参ります。



■環境創生学科

主任教授 田中 章

当学科では顕在化する環境問題を生態環境と都市環境の 2つの側面から科学的に理解し、問題解決のための政策や 手段を学んでいます。

平成27年9月には、静岡県下田市にて環境学部主催「第5回アカウミガメ産卵地保全と利用のための勉強会」を開催。今回で5回目を迎えた勉強会は、環境省、静岡県、下田市を含む様々な立場の地域の方々を交え、活発な議論や活動報告が行われました。第4回勉強会で本学科学生が提案したアカウミガメの保全を訴える看板が下田市長のご厚意によって、下田市でアカウミガメの上陸、産卵が確認されている吉佐美大浜、多々戸浜、入田浜の計3か所に設置されました。また、今回は旧武蔵工業大学の卒業生も参加され、世代を超えた本学同窓生間のつながりのきっかけを得ることができました。

平成28年度も、当学科が提案している地域の発展と生物多様性保全を両立させる「里海バンキング」の導入を目標に掲げ、地域の行政、企業、NGO、住民、並びに本学卒業生のご協力を頂きながら、この活動が下田市から伊豆半島全域に広がることを期待しています。



アカウミガメ産卵地 保全と利用のための 勉強会 in 下田

■環境マネジメント学科

主任教授 中原 秀樹

止まらない気候変動、暖冬なのに寒い。マニフェストのチェッ クを怠ったココー番屋に責任が。ディーゼル車に違法ソフトを 搭載していたVWの環境基準偽装。東芝の不適切会計問題で 揺れる企業の社会的責任。2015年を揺るがしたこれらの諸問 題は全て「環境マネジメント学科」で取り扱う領域。今や「環境 と関係のないビジネスなんて考えられない」ということで、環境 なのか情報なのか分かりにくいという指摘を受けて環境情報 学科から改組し「環境マネジメント学科」を創設。毎年開催さ れるエコプロダクツ展の出展企業や、中原が会長を務めていた 全国2000社以上が加盟するグリーン購入ネットワークでは「分 かり易くてよい学科名」と好評だったが、いざ蓋を開けてみると 何と受験生には見向きもされない。20年前に発足した環境情 報学科の目玉は「環境マネジメントシステム」。世界に先駆けて ISO14001を取得、大学祭では他大学にはないカーボンオフセッ ト、ウォーターフットプリントも導入。地球環境大賞も受賞した。 落ち込んではいられないと、渋谷で連続環境マネジメント講座 を社会人向けに15週連続で開いた。亡くなった北澤学長も毎回 聴講に来られ延べ500人近くの受講生を集めた。異口同音に評 価していただいたこの講座は「ブルーアース・カレッジ:ようこそ 地球経済大学へ」という本にまとめ出版した。受験生の親には 好評の新学科なのだが。胃が痛む。

■社会メディア学科

主任教授 川村 久美子

平成27年4月、メディア情報学部開設から丸二年、社会メ ディア学科の第一期生がゼミ生として研究室に配属され、学 びの成果が横浜祭やキャンパス見学会などで見られるように なりました。彼らはユニークな学科で学んでいます。社会メディ ア学科は文系であってソフト理系の力やデザイン力の養成に も力を入れている点で純粋文系とは違い、ICTを扱うものの 「技術とそれを使う人間(社会)の双方を、特にその関係性を 理解する力」を強調する点で理系とも違い、リサーチやフィー ルドワークまで取り込んだ教育を行うのでデザイン系学科と も違います。そこで学生は三つの力――多様な情報を収集、 評価し問題発見に結び付けるリサーチ力、問題解決のための 新たな情報ツールを制作、提案できるデザイン力、個人と地 域、地域と企業、市民と専門家、さまざまなコミュニティや組 織をつなぎ問題解決へと導くコミュニケーションカーーを身 に着けるべく日々研さんを積んでいます。将来はICT時代をリー ドするメディア専門職として各分野できっと活躍してくれるで しょう。

■情報システム学科

主任教授 八木 伸行

平成27年度は、環境情報学部情報メディア学科最後の入学生が卒業する年です。奇しくも、情報メディア学科を創設年から率いて来られた奥平雅士教授が定年退職されます。代わりに宮地英生教授が着任され、今後は従来からの岩野公司教授、梅原英一教授、大谷紀子教授、小倉信彦准教授、諏訪敬祐教授、関良明教授、藤井哲郎教授、横井利彰教授、私を加えた10名体制で学生の指導に当たります。平成28年度は全学年が情報システム学科で入学した学生になり、情報システム学科フルスタートの年です。それもあり、平成27年度のオープンキャンパスの際にデザイネージコンテストを実施しました(http://www.

yc.tcu.ac.jp/~designage/)。高校生が熱心にKINECTのプログラミングに挑戦し、うち1名は情報システム学科に入学科に入学ですが、情報システムの勉強に意欲ある多くの学生が参加し入学してくれることを期待しています。卒業生の皆様も、情報システム学科を大いにPRしてください。よろしくお願いします。



ご退職される奥平先生

■都市生活学科

都市生活学部 学部長 川口 和英

都市生活学部は、今までにない新しい発想で創る「都市」をテーマに総合的に学ぶ社会科学系の学部として2009年4月に開設し、2013年には大学院(都市生活学専攻)を設置し、それぞれ完成年度を既に迎えました。学部開設7年、大学院開設3年となります。平成27年度よりカリキュラムを改編し、「社会課題(Social Issue)」と「価値ある都市生活(Value of Urban Life)」を構築していくために、領域を「都市のライフスタイル Lifestyle」、「都市のマネジメント Management」、「都市のデザイン Design」、「都市のしくみ System」の4領域とし、教育・研究をすすめています。さらに、海外研修(欧州、アジア)に加えて、1年次の準備教育と2年次5か月間の留学を合わせた2年に亘る本学独自のプログラム「東京都市大学オースト

ラリアプログラム(TAP: Tokyo City University Australia



2015年10月 等々力祭

■児童学科

人間科学部 学部長 井戸 ゆかり

平成27年3月末に近藤雅雄前学部長が定年退職され、4 月に早坂信哉教授と園田巌専任講師を迎え、児童学科の 新たな一歩が踏み出されました。

4月には山梨県河口湖畔でフレッシャーズキャンプを開催し、2日目は季節外れの大雪に見舞われ、一部プログ

ラムの変更がありましたが、シニアスタッフ(2,3年生有志)の活躍で充実した2日間となりました。5月半ばには、オーストラリア政府のニューコロンボ計画により、協定校



のウーロンゴン大学の学生10名の研修を受け入れました。 (http://news.child.tcu.ac.jp/)

さらに、10月には、児童文学研究家のエリーナ・ドゥルッケル博士をお迎えし「スウェーデンにおける児童文学の発展」と題し、第7回学術講演会をスウェーデン大使館、本学国際センターと共催し、200名を超える参加者がありました。グローバル化に伴い、平成28年度からはTAPにも参加いたします。

就職率は例年100%であり、平成27年度も達成されそうです。

今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■新美砂会便り

副会長 川辺 加代子(S50国文)

◇新美砂会総会開催

本会は平成27年11月1日に同窓会統合後初の総会を開催し、新美砂会としての活動状況・会計の報告と併せて、現在の母校の様子や校友会としての取り組みなどの報告いたしました。また、同日開催されたホームカミングデーでは恩師を始めご来賓の皆様方や、若い等々力会のメンバーと共に、明るく和

やかな時間を過ごすことが出来ました。(総会の開催通知は、ホームカミングデー招待対象者への案内と同封して郵送しておりますが、ホームページでもお知らせしています。)



◇冬の鎌倉散策イベント開催

平成28年1月16日に新美砂会企画による「一冬の鎌倉を訪ねて 一 鎌倉近代美術館観覧と鎌倉で育まれた豊かな食材のランチを楽しむ一日」というイベントを開催しました。新年早々の日程にもかかわらず参加してくださった皆さまと楽しく有意義

な一日を過ごせました。

今後も様々なイベントを企画して、会員の皆様にご案内したいと思いますので、ぜひ校友会へのアドレス登録をお願いいたします。



ぴつぴ

子育て支援センターぴつぴは、東京都市大学 等々カキヤンパスで、人間科学部児童学科の学生 研修の場として、運営されています。

広々としたスペースを確保し、オリジナルの遊 具を揃えた子育て支援施設です。子育てが最も大変!といわれる乳幼児とその親が一緒に安心して 過ごす、遊ぶ場所として広く地域に開放され、た くさんの親子に利用いただいています。平日の開 館時間は午前10時から午後4時まで,土曜日は午 後1時までです。利用料金は1家族1日200円で す。昼食には学生食堂が利用できます。

http://www.tc.tcu.ac.jp/pippi/





■共通教育部

人文•社会科学系 主任教授 岩﨑 敬道

本学系は、人社教育・体育教育・教職教育の3部門からなり、各部門それぞれの課題を追求し、さらなる全学教育の発展および社会に貢献できるよう、日々努力を重ねています。

◎人文・社会科学教育部門 教授 新保 良明

教養科目は1990年代初頭の大学設置基準の緩和によりないがしろにされてきた過去を持ちますが、近年は逆に企業から大学卒業にふさわしい教養が求められるようになっています。ところが、たとえば、キリスト教に関連してイエス・キリストを話題にする場合、残念ながら「イエス」を個人名、「キリスト」を名字と捉えている学生が少なからずいます。グローバル化が叫ばれて久しい中、我々が教養を学生に身につけさせていくかは大きな課題でしょう。

その一方で、全学的な教養科目の開講数は同規模の大学のそれを凌駕しており、学生にとって恵まれた履修状況にあると言えましょう。とはいえ、希望する教養科目の開講日・時限と専門の必修科目、実験・実習科目のそれとが重なれば、学生が専門科目を優先せねばならない履修状況にあることも事実です。

在学生の皆さんには、学年進行を見据えながら、興味 関心に応じた履修を望みます。

◎体育教育部門 教授 渡辺 一郎

体育教育部門では、今年から渡辺が日本ラグビーフットボール協会の理事となり、ワールドカップの次回開催国担当としても忙しい日々を送っています。また一方で、筋力系の低下が顕著な本学学生に対し体育実技種目では工夫を凝らしながら楽しく運動量を増やすべく努力し、スポーツ健康論の講義では体力低下が人体に及ぼす影響や誰でもできる体力トレーニング法等を理論的にわかりやすく教授しています。しかしクオーター制度の導入により、選択科目としての体育実技の履修が困難な状況になってきています。YCでは毎年300名前後、TCでは毎年100人前後の学生が体育実技を履修しておりましたが、次年度はどの程度の履修者が集まるか非常に不安な状況です。このような状況を改善するためにも、将来的に体育科目の必修化を目指し、体育スタッフが協力して実現に向けて更なる努力をしていく所存です。

◎教職教育部門 教授 岩﨑 敬道

2014年度から井上教授が世田谷区教育委員会の教育委員として社会的な貢献もしています。岩﨑は、FD専門委員会委員長として、研修の企画・運営も含めた全学的な教育改善に携わり、渡邉・鈴木両講師は、授業はもちろんのこと、教員採用試験対策に力を注いでいます。

今年も横浜市、埼玉県を中心に専任教員、非常勤も含め10名ほどの学生が中・高等学校の技術科・数学・理科の教員として現職に就く予定です。また今年は横浜キャンパスからも「情報」科の教員が生まれました。「情報」の免許だけでは正規採用が難しい状況の中、今後の可能性を示す希望となっています。

自然科学系

主任教授 山口 勝己

平成27年度は、12名の専任教員、5名の客員教授、63名の非常勤講師という体制で、主に工学部・知識工学部の工学系基礎科目の教育と研究を担当しています。化学・生物・地学教育部門については、知識工学部自然科学科の教員が担当し、数学、物理部門についても自然科学科の教員と連携して教育を行っています。また、大学院工学研究科の共通教育も担当しています。

◎自然科学系/数学教育部門

吉田教授が退職され、金川教授、井上、古田准教授、矢作教育講師の4名体制に加え、自然科学科の吉野、橋本教授、中井准教授と連携して教育研究活動を行っています。また、客員教授を北垣郁雄・広島大学名誉教授、野原勉・本学名誉教授、知沢清之・管理工学研究所(株)相談役に委嘱し、数学部門の教育と研究に助言をいただいています。

◎自然科学系/物理教育部門

岩松、長田教授、須藤准教授、中村講師、右近教育講師及び菅谷技師捕の6名に加えて、自然科学科の飯島教授、門多講師と連携して教育研究活動を行っています。また客員教授を岡部豊・首都大学東京名誉教授と辻和彦・慶応義塾大学名誉教授に委嘱し、物理部門全体の教育と研究に助言をいただいています。

◎自然科学系/情報教育部門

山口教授、安井講師の2名体制で、主に工学部の情報基礎教育を行っています。また、情報基盤センターの整備・運営にもセンター職員と協力して参画しています。

外国語共通教育センター 主任教授 土肥 一夫

3キャンパスが統一化され、外国語共通教育センターが設立され7年になります。この間に、教養科目を含め英語関連の開講科目数が限られた主に等々カキャンパスの学生が世田谷キャンパスで学び、学生の交流が盛んになってきています。国際化する現代で、アクションプラン2030に向け、外国語教育においても貢献できるように内容・レベルともに充実させたいと考えています。

平成26年度をもって本学に長年にわたり貢献されたジョン・ブラウン教授と、数年でしたが学生の年齢に最も近く懇切丁寧な指導で評判が高かった白岩英樹教育講師が退職となりました。そして、平成27年4月にスティーブン・クレイネス准教授、さらに9月に稲垣亜希子教育講師が新たに着任されました。

新年度も3キャンパスで入学時と1年終了時に実施する 英語基礎学力テストにより習熟度別のクラス編成を継承 し、可能な限り少人数での演習授業を心がけています。 この学力テストでは昨年度との比較でわずかですがほと んどの学部で学生の英語力が向上していることが証明さ れています。

スマホ世代の学生が世界に広く目を向け社会で活躍で きるよう、これからも授業等を通じ取り組んでいきたい と考えています。

平成27年度 就職動向と支援

キャリア支援センター課長 住田 曉弘

1. 就職環境の変化

景気の上昇傾向を受けて、平成28年3月卒業予定学生の新卒求人倍率(リクルートワークス研究所調べ)は1.73倍(昨年1.61倍)となり、昨年と比較しても一人当たりの求人数は若干ですが増加の傾向にあります。

また大きな環境変化として、就職活動が早期化することによる学修への影響の懸念により、政府からの要請で就職採用活動時期が大幅に変更され、求人情報の公開は前年度、大学3年生の12月であったのが3年生の3月に、採用選考は大学4年生の4月であったのが8月にとそれぞれ後ろ倒しになりました。本学でもこの変更に対応すべく正確な情報を把握した上で、ガイダンスなどでの学生へ意識付けの徹底や支援イベントの時期や内容変更をはじめとしてさまざま対応を行ってまいりました。その結果、若干の混乱はありましたが今年度も学生から多くの良い結果報告を受けることができています。

ただ、ここ数年本学の学生に限らない傾向ですが、複数の内定を得る学生と、なかなか内定を獲得することができない学生との差が大きくなっていると感じています。

学生が内定を獲得するために、「(基礎力+専門力)×就職活動力」を高めることが必要であると本学のキャリア関連の担当者で共有しています。これは低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの「就職活動力」を高める対策を行うということではありません。低学年時にはキャリアの意識を高める内容の授業やガイダンスを行い、「基礎力」を高める授業や課外活動への取り組みの重要性やインターンシップへの積極的な参加の効果を伝えます。また学年が上がってからは全員が研究室に配属される本学の強みを生かし「専門力」を高めることを意識するように伝えています。就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催し、そのプログラムに積極的に参加することで良い結果につながっています。

一方でここ最近の一つの特徴として社会からはグローバル化へ対応できる人材の育成への求めが強まっていると感じています。校友会の皆様からも現役の学生に対して、海外インターンシップ派遣学生への奨学金や、インターナショナルラウンジの施設、毎日学べる英会話講座受講への補助など、学生の育成に支援をいただけていることを心より感謝いたします。

次年度、平成29年3月卒業生に向けては採用選考時期を8月から6月に変更すると昨年末に発表がありました。2年続けて変更になる就職活動スケジュールに学生が戸惑わないように本学としても十分に対策をしていきます。校友会の皆様からも学生への直接的、また情報提供などの間接的なご支援も一層賜れますようお願いいたします。

2.本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しています。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が 常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の 進路について的確なアドバイスを受けることが出来ます。常駐 しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者で あり、キャリアに関わることはどんなことでも安心して相談を

する環境ができています。卒業 生や先輩学生による密度の濃い 情報をはじめ、各社の求人、公 務員、Uターン、就職活動支援 サービス会社の各種資料なども 豊富に提供しています。



また、各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力に学生をバックアップし、学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっています。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセ

ラーによる面接指導や履 歴書添削だけでなく、自 己分析等の指導も積極的 に行い、基礎から応用ま で、幅広い指導をしてい ます。



また、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しています。

3.平成27年度の状況

今年度の就職状況は、文部科学省発表の2015年12月時点での国公私立大学の平均内定率は「80.4%」となりました。本学では12月時点で85.2%の決定率となっております。人間科学部の保育業界希望者は、これからが選考のピークを迎えることを考えましても、全国平均に比べて十分健闘をしてはおりますが、本学としましては、まだ活動を継続している学生に対しての支援は最優先と認識しております。これからも学内での企業セミナーや継続して求人をしている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を実施してまいります。

4. 最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、変化の大きな就職環境に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き校友会の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



勝又 英明 (S55建築)

校友会報「都市」も3号となりました。厳密に言いますと、「都市」という会報名が決まったのが前 号ですので、「都市」としては2号目となります。本号では執筆した皆さんには写真の提供をお願いし たため、前2号と比べますとだいぶビジュアルになりました。同窓生の皆さんの集合写真が多いため か、面白みに欠ける部分があるかもしれませんが、この写真の中から知り合いの同窓生、同級生、クラ

ブ・研究室の先輩後輩を探してみてください。

本報「都市」では、同窓の皆さんの情報を主として扱い、母校からのお知らせは、大学のWebsiteや年4回発行の 「TCU QUARTERLY -都市大だより-」そして本報と同封の「東京都市大学」をご覧いただくということで棲み分けを 行っています。本報「都市」は現在のところ、地方支部の皆さん、職場支部の皆さん、都市大の各学科、学科同窓会の 情報を軸として編集を行っています。各地方、職場、学科、学科同窓会の情報としては必ずしも十分な紙面がありませ んが、特に地方支部や職場支部、学科同窓会の活動内容を知っていただき、興味をもっていただき、さらには参加して いただくのが、母校や校友会の発展につながるものと信じて編集を行っています。本報「都市」の紙面に掲載しきれな い貴重な、タイムリーな情報は校友会Websiteにより発信しています。是非ご覧ください。

地方支部や職場支部、学科同窓会だけでなく、校友会の会員による学科、学年、部活を越えた組織として「(株)武蔵工 業会館」、「柏三水会」、「柏門技術士会」があり、本報20ページで紹介をしています。是非それぞれのWebsiteもご覧いた だき、同窓生の輪を広げていただきたいと思います。

最後になりましたが、執筆していただいた皆様、編集にご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

会報編集部会

部 会 長: 今井 章久 (S44通信)

編 集 長:勝又 英明 (S55建築)

員:小林 哲男 (S47土木) 委

員:服部 圭子(S50家政) 委

員:植村 俊子(S52家政) 委

員:加藤 祐子 (S53国文) 沗

委 員:衣斐喜美子(S55家政)

員:藤井 研一(S57建築)

2016年3月19日発行

東京都市大学 校友会 都市 vol.03

発行人 吉田 勝

発行所 東京都市大学 校友会

〒158-8557

東京都世田谷区玉堤1-28-1

東京都市大学1号館4階

Tel.03-3703-3862

Fax.03-3703-4595

E-mail koyukai@tcu.ac.jp

URL http://www.tcu-alumni.jp

CONTENTS 2016 March Toshi vol.03

巻頭言 1-2

1 東京都市大学 校友会 会長 吉田 勝

2 東京都市大学 学長 三木 千壽

平成27年度定期総会報告

ご報告

6 第3回親睦ゴルフ大会

6 平成27年度ホームカミングデー

6 屋形船による遊覧と親睦会

6 校友会セミナー

地方支部だより 7-18

職場支部だより 18-19

学科・学科同窓会だより 20-28

大学からのお知らせ 平成27年度就職動向と支援

編集後記 30

> 武蔵工業会館・柏三水会・柏門技術士会 20

メールアドレス登録のお願い

表紙解説 24

ぴっぴ

TOSHI vol.03 TOSHI vol.02 TOSHI vol.03 TOSHI vol.03

平成28年度定期総会等のご案内

東京都市大学 校友会 平成28年度定期総会・講演会・懇親会を以下のとおり開催致します。 今回は、総会後、宇宙飛行士の山崎直子氏〈調整中〉にご講演をお願い致しました。 ふるってご出席いただきたく、ご案内申し上げます。

■期 日:平成28年6月18日(土) ■場 所:東京都市大学世田谷キャンパス

■懇親会費: 3,000円

1,000円 (平成28年3月学部卒業者)

■定期総会 審議事項

1. 平成27年度事業報告

2. 平成27年度収支報告及び監査報告

3. 会則・細則の一部改定について

4. 財務諸表の書式変更について

5. 平成28年度事業計画案

6. 平成28年度収支予算案

7. その他

■スケジュール:

12:30 受付

13:00 定期総会 21C・22C教室

14:15 講演会

講 師:宇宙飛行士 山崎直子氏

〈予定 ※講師は変更になる可能性があります。〉

テーマ:「宇宙、人、夢をつなぐ」

16:00 懇親会 メモリアルホール

 $(\sim 18:00)$

平成27年度 定期総会懇親会



平成28年度 ホームカミングデーの予定

○横浜キャンパス 平成28年 6 月11日 (土)

○世田谷キャンパス 平成28年10月30日(日)

○等々カキャンパス 平成28年10月29日(十)または10月30日(日)

平成27年度 世田谷キャンパス ホームカミングデー



メールアドレス登録のお願い

校友会では行事等をお知らせするサービス提供や情報発信に電子メールの活用を進めています。皆様がお使いの電子メールアドレスの登録を校友会ホームページ (URL:https://www.tcu-alumni.jp/ssl/htdocs/) からお願いいたします。

スマートフォン、携帯からはQRコードをご利用下さい。

詳しくは、21ページをご覧ください。

